7 型ワイド VGA LED 液晶ディスプレイオーディオ

DA7

Made for iPhone

Works with Apple CarPlay

androidauto™

Bluetooth®

flac free lossless audio codec

• 取扱説明書
本製品をお使いの前によくお読みください。

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

●インフォメーションセンター

＜電話でのお問い合わせ＞

TEL：0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
（携帯電話・PHS：20秒10円）

一部のIP電話など、接続できない場合は次の番号をご利用ください。 TEL：03-6704-4926

＜メールでのお問い合わせ＞
ホームページのお問い合わせフォームより受け付けています。

＜LINEでのお問い合わせ＞
「友だち追加」から友だち追加できます。
※LINEアカウントをお持ちでない場合には、LINE会員登録が必要になります。

携帯OK

アルパイン マーケティング株式会社

● 電話受付時間
（土曜・日曜・祝日・弊社休業日を除く）
月曜～金曜日　9：30～17：30

＜FAXでのお問い合わせ＞
FAX：045-522-8700

● アルパインホームページ　https://www.alpine.co.jp

JEIL Moon Hwa Co.
18-6, 3Ga, Pil_dong, Jung_gu, Seoul, Korea

Designed by ALPINE Japan
Printed in Korea

もくじ

取扱説明書

警告

安全のために必ずお読みください 4
警告 4
注意 5
お知らせ 5

お使いになる前に

操作部 7
電源 ON/OFF 7
初期システム起動 7
音量を調整する 7
素早く音量を下げる 7
タッチスイッチの操作 8
ホーム画面について 8
インジケータ表示について 9
文字と数字の入力方法（キーパッド）.....9

設定

設定操作 10

サウンド設定

シンプルなサウンド設定 10
Fader/Balance の設定 10
低音 / 中音 / 高音を調整する 11
イコライザーを設定する 11
サブウーハーの設定 11
詳細なサウンド設定 11
クロスオーバー（X-Over）を調整する 12
パラメトリック EQ（P-EQ）を調整する 12
タイムコレクション（TCR）を調整する 13
Media Xpander（MX）を設定する 13
Defeat を設定する 13
クロスオーバーについて 14
タイムコレクションについて 14

音量設定

電話の音量設定 15
着信音量を調整する 15
受話音量を調整する 15
マイク音量を調整する 15
電話以外の音量設定（その他）.....16
操作音設定 16

システム設定

時計設定 16
画面 /LED のカスタマイズ（明るさ）...16
バックライトの明るさを設定する（調光）.....17
バックライトの最小レベルを調整する 17
夜間のボタン照明を調整する 17
言語設定 17
リセット 17

Smartphone 設定

Apple CarPlay の設定 18

外部機器（AUX IN）設定

外部機器（AUX IN）画質の設定 18
外部機器（AUX IN）の信号入力を設定する 18

Bluetooth の設定

デバイス設定 19
Bluetooth 機器をペアリングする 19
Bluetooth 機器を設定する 19
Bluetooth 機器をリストから削除する 19
Bluetooth 情報を表示する 19
Bluetooth 機器をサーチする 19
電話帳をダウンロードする 19

カメラ設定

カメラ接続設定 20
カメラ画質の設定 20
カメラ信号入力を設定する 20
リアカメラガイドを ON/OFF する ...20
リアカメラガイドを調整する 21

情報

Apple CarPlay をつないで使う

Apple CarPlay にアクセスする 22

Android Auto をつないで使う

Android Auto とは 22
Android Auto を有効にする 22

ラジオ

ラジオの基本操作

ラジオを聴く 23
放送局を手動でプリセットする 23
放送局を自動でプリセットする 23
プリセット局に合わせる 23
放送局を探す 23
プリセット局を探す 23

USB メモリー（オプション）

再生 25
早送り / 早戻し（USB ビデオ）.....25
リピート再生 25
シャッフル再生 25
希望の曲 / ビデオ / フォトを
サーチする 25
スライドショー（USB フォト）.....25
USB ビデオ形式について 25

iPhone の iPod モード（オプション）

再生 26
音楽ファイルのサーチ 27
リピート再生 27
シャッフル再生 27

Bluetooth 操作

使用前の設定 28
Bluetooth について 28
ハンズフリー電話について 28
Bluetooth を使用する前に 28

ハンズフリー電話の制御

電話を受ける 29
電話を切る 29
電話をかける 29
電話メニューを使って電話を
かける 29
音声認識機能を使う 30
Siri を使う 30
音声ダイヤル機能 31
電話操作画面 31
会話音量を調整する 31
音声出力を変更する 31
DTMF（タッチトーン）機能 31
電話帳機能 32
電話帳を同期する 32

Bluetooth オーディオ

再生 33
リピート再生 33
シャッフル再生 33

外部機器（AUX IN）（オプション）

外部機器（AUX IN）操作
（オプション）.....33

カメラの操作（オプション）

カメラの操作 34
ホーム画面からカメラの映像を
表示する 34
車のシフトをリバースに入れている
間にリアカメラの映像を表示する ...34
リアカメラガイドについて 34

情報

製品のソフトウェアについて 36
対応フォーマットについて 36
MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV
について 36
トラブルシューティング 38
こんなメッセージが表示されたら 39
仕様 40

設置と接続

警告 41
注意 41
注意事項 41
付属品リスト 42
設置 42
設置場所に関する注意 42
マイクを取り付ける 42
純正ブラケットを使用した設置例 42
接続 43
システム例 46

取扱説明書

警告

安全のために必ずお読みください

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みください。本製品を安全に正しくお使いいただくための指示を記載しております。本取扱説明書の指示に従わなかった場合に生ずる問題について、当社は責任を負いかねます。
- 本製品を安全にお使いいただくため、また不適切な接続や操作により生じる潜在的な危険性を警告するため、本取扱説明書では様々な絵表示を用いています。これらの絵表示の意味は以下の通りです。本取扱説明書とシステムを正しくお使いいただくために、これらの絵表示の意味を十分に理解することが重要です。

⚠ 警告

- 運転中の本機の操作は危険です。車両を停止してから操作してください。
- 地図に含まれる情報より道路状況や法規が優先されます。運転中は、実際の交通規制を遵守し状況に従ってください。
- 本ソフトウェアは、本機での使用専用に設計されています。他のハードウェアとあわせて使用することはできません。また使用してはなりません。

⚠ 警告

本記号は重要な指示を示しています。遵守しない場合は、重傷または死に至る場合があります。

車両が停止しているかパーキングブレーキをかけている場合を除き、ドライバーがテレビやビデオを見ることができないように、製品を正しく設置してください。

車両を運転中にドライバーがテレビやビデオを見るのは危険です。製品を誤って取り付けると、運転中のドライバーがテレビやビデオを見ることが可能になります。これにより、ドライバーが前方を見て運転に集中できなくなるなどの注意散漫を引き起こし、事故につながるおそれがあります。また、ドライバーや他の人々を巻き込み重傷を負うおそれがあります。

運転中はビデオを見ないでください。

ビデオを見ることでドライバーの気が散り、車両の前方への注意力がそがれ、事故につながるおそれがあります。

車両の安全走行から注意をそらすおそれがあるため、いかなる機能の操作もしないでください。

ドライバーの集中力が長い間要求される機能の操作は、車両が完全に止まってからおこなってください。常に車両を安全な場所に停止させた後、これらの機能を操作してください。事故につながるおそれがあります。

音量は、運転中に外部の音が聞こえるレベルを保ってください。

緊急時の車両のサイレンや道路上での警報（電車の遮断器の合図など）が聞こえにくくなるほどの過度の音量は、危険をもたらし事故につながるおそれがあります。車内で大音量で聞く場合、聴覚に損傷を与えるおそれもあります。

運転中、表示部は最小にしてください。

表示部を見ることでドライバーの気が散り、車両の前方への注意力がそがれ、事故につながるおそれがあります。

分解や変更はしないでください。

事故や火災、感電に至るおそれがあります。

DC12V マイナスアース車でのみご使用ください。

（定かでない場合は、販売店にご確認ください。）火災などに至るおそれがあります。

ネジなどの小物は子供の手の届かないところに保管してください。

飲み込んで重傷に至るおそれがあります。飲み込んだ場合は、ただちに医者の診察を受けてください。

ヒューズを交換する際は、正しいアンペア数で使用してください。

火災や感電に至るおそれがあります。

通気口やラジエーターのパネルをふさがないでください。

内部に熱がこもり、火災のおそれがあります。

本製品はモバイル 12V 用途に使用してください。

設計された用途以外での使用は、火災や感電、その他の傷害の原因になります。

正しく接続してください。

誤った接続は、火災や製品の損傷の原因になります。

配線の前に、バッテリーのマイナス端子からケーブルを外してください。

感電や、電気的短絡によるけがの原因になります。

ケーブルが周辺の物に絡まないようにしてください。

運転中の邪魔にならないように、取扱説明書にしたがってケーブルなどの配線をおこなってください。ケーブルやワイヤーがハンドルやギヤシフトレバー、ブレーキペダルなどの上を遮ったり、またそれらの上に掛かったりすると、非常に危険です。

電気ケーブルをつなぎ合わせないでください。

他の機器に電力を供給するために、ケーブル絶縁物を切断することは絶対にしないでください。配線の電流容量を超えることにより、感電に至るおそれがあります。

穴を開けるときは、導管や配線を損傷しないようにしてください。

設置のためにシャーシに穴を開ける際は、導管や燃料経路、タンク、電気配線などに接触したり、それらを損傷したり妨害したりすることのないよう注意してください。火災に至るおそれがあります。

ブレーキやステアリングシステムのボルトやナットを使ってアース接続をしないでください。

ブレーキやステアリングシステム（その他の安全関連システムすべて）、タンクに使用しているボルトやナットは、設置やアース接続の際には絶対に使用しないでください。車両の制御ができなくなり、火災などの原因になります。

ハンドルやギヤシフトレバーなど、車両の操縦を妨げかねない場所に設置しないでください。

前方の視界を遮ったり、動作などの邪魔になり、重傷に至るおそれがあります。

⚠ 注意

本記号は重要な指示を示しています。遵守しない場合は、けがや物的損害を引き起こすおそれがあります。

問題が見受けられる場合は、ただちに使用を中止してください。

人身傷害や製品の損傷の原因になります。正規のアルパイン販売店またはお近くのアルパインサービスセンターに修理を依頼してください。

配線と設置は専門の技術者に依頼してください。

本機の配線と設置には、特殊な技術的熟練と経験を要します。安全を確保するために、製品を購入した販売店に必ず連絡をとり、作業を完了してもらってください。

指定されたアクセサリ部品を使用し、しっかりと取り付けてください。

必ず指定のアクセサリ部品のみを使用してください。指定外の部品を使用すると、本機の内部が損傷したり、所定の位置に確実に設置できない可能性があります。これにより部品にゆるみが生じ、危険な状況や製品の故障に至るおそれがあります。

鋭利な金属の端面で配線が押し付けられたり、挟まれたりしないように配線してください。

ケーブルなどの配線は、可動部分（座席のレールなど）や鋭利な先端から離しておこなってください。こうすることで、配線が押し付けられることによる損傷を受けなくてすみます。配線を金属の穴に通す場合は、金属穴の端面で配線の絶縁物が切断されないように、ゴム製のグロメットを使用してください。

水分や埃の多い場所には設置しないでください。

水分や埃の発生頻度が高い場所に、本機を設置しないでください。本機に水分や埃が入ると、故障の原因になります。

⚠ お知らせ

製品のお手入れ

製品の定期的な清掃には、柔かい乾いた布をお使いください。頑固な汚れには、水のみを浸した布をお使いください。それ以外のものを使うと、ペイントが溶けたりプラスチックが損傷する原因になります。

温度

本機の電源を入れる前に、車内の温度が +45°C（+113°F）～ 0°C（+32°F）の範囲内であることを、必ず確認してください。

保守

問題がある場合、ご自身で本機を修理することはおやめください。アルパイン販売店またはお近くのアルパインサービスステーションに修理を依頼してください。

USB コネクタの保護

- iPhone または USB メモリーのみ本機の USB コネクタに接続することができます。その他の USB 製品を使った場合、正しい性能は保証できません。
- USB コネクタを使う場合は、必ず本機に付属のコネクタケーブルのみを使用してください。USB ハブには対応していません。
- 接続する USB メモリーによっては、本機が動作しなかったり、またはいくつかの機能が実行されない場合があります。
- 本機で再生できるオーディオファイル形式は、MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV です。
- アーティスト名や曲名などを表示できます。特殊文字によっては正しく表示できない場合があります。

⚠ 注意

データなどの紛失については、本製品を使用中にデータなどを紛失した場合であっても、当社は一切の責任を負いません。

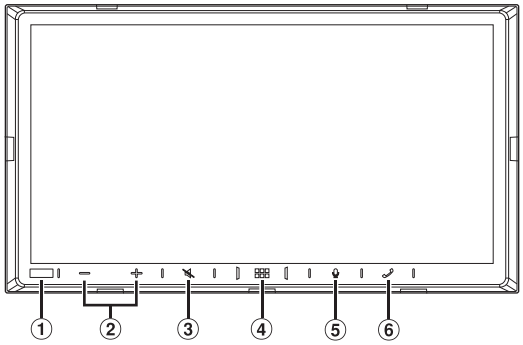
USB メモリーの取り扱いについて

- 本機は、USB マスストレージクラス（MSC）プロトコルに対応するメモリー記憶装置を制御することができます。再生可能なオーディオ形式は、MP3、WMA、AAC、FLAC および WAV です。
- USB メモリーの機能は保証しておりません。契約条件に順ずる USB メモリーをお使いください。USB メモリーの取扱説明書をよくお読みください。
- 以下の場所での使用や保管は避けてください。
  車内で直射日光の当たる場所や高温になる場所
  湿度が高くなる可能性がある場所や腐食性物質のある場所
- ドライバーの運転の妨げにならないところに USB メモリーを固定してください。
- USB メモリーは、温度が高いまたは低いところでは正しく機能しない場合があります。
- 保証済みの USB メモリーのみをお使いください。保証済みの USB メモリーであっても、種類や状態によっては正しく機能しない場合があります。
- USB メモリーの種類、記憶状態、符号化ソフトウェアの設定によっては、本機が正しく再生または表示しない場合があります。
- USB メモリーは、再生開始に時間がかかる場合があります。USB メモリー内にオーディオ以外の特殊なファイルがある場合は、ファイルの再生や検索までにかなりの時間がかかる場合があります。
- 本機は、「mp3」、「wma」または「m4a」の拡張子のファイルを再生することができます。
- オーディオデータ以外のファイルに上記の拡張子を付与しないでください。非オーディオデータは認識されません。再生されたものには、スピーカーやアンプに損傷を与えるようなノイズが含まれている場合があります。
- 重要なデータはパソコンにバックアップをとっておくことをお勧めします。
- 再生が進行している間は、USB メモリーを取り外さないでください。メモリーの損傷を予防するために、USB 以外のソースに設定を変えた後で、USB メモリーを取り外してください。

- Windows Media および Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、iPhone および Siri は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。Apple CarPlayはApple Inc. の商標です。
- Made for Apple および Works with Apple バッジの使用は、アクセサリが、Made for Apple バッジで識別される Apple 社製品専用に接続されるよう設計されており、Works with Appleで識別される技術と特に機能するように設計されていることを意味し、Apple 社の性能基準を満たすことが、開発者によって保証されていることを意味します。Apple 社は、本装置の動作や安全および規制基準の遵守について責任を負いません。
- Apple 社製品と本アクセサリの使用により、無線性能に影響を与える場合があります。
- Apple CarPlay ロゴの使用は、車両のユーザーインターフェースが Apple 社の性能基準を満たすことを意味します。Apple 社は、本車両の動作や安全および規制基準の遵守について責任を負いません。iPhone と本製品の使用により、無線性能に影響を与える場合があります。
- Google、Android、Android Auto、Google Play およびその他のマークは Google LLC の商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ALPS ALPINE CO.,LTD. はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- MEG Layer-3オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。本製品の供給によって与えられるのは、個人及び非営利使用の目的のためのライセンスのみであり、次の使用目的のためのライセンスを与えるものではなく、また（収益を発生させる）コマーシャル、リアルタイム放送（地上波、衛星放送、ケーブルおよび / またはその他の媒体）、インターネット、イントラネット、および / またはその他のネットワークもしくはその他有料オーディオやオーディオオンデマンドソフトウェアのような電子コンテンツ配布システム経由の放送/ストリーミングなどの使用目的で本製品を使用するいかなる権利をも示唆するものではありません。その目的の使用については独立したライセンスが必要です。詳細は、以下をご参照ください。
  http://www.mp3licensing.com

お使いになる前に

操作部



① **調光センサ**
車内の明るさを感知します。

② **– / +（下 / 上）ボタン**
タッチして音量を調整します。

③ **（ミュート）ボタン**
タッチしてミュートモードの ON/OFF を切り換えます。

④ **（ホーム）/（電源オフ）ボタン**
ホーム画面を有効にします。
1 秒以上長押しすると電源が切れます。

⑤ **ボタン**
Siri 機能あるいは音声認識モードを ON にします。

⑥ **（電話）ボタン**
ハンズフリー電話が接続されていない場合：
Bluetooth の設定画面が表示されます。
ハンズフリー電話が接続されている場合：
電話番号の入力画面（キーバッド）が表示されます。
2 秒以上長押しすると最後に受信した電話番号に電話をかけることができます。
着信中：
通話を開始します。
通話中：
通話を終了します。

本取扱説明書で使用するボタン表記について
本機の正面にあるボタンは、太字で（例：（ホーム））で示します。タッチスクリーン画面に表示されるボタンは、カッコ［］内で太字（例：**[X]**）で表示されます。

電源 ON/OFF

車両が動いているとき、本機のボタンのいくつかは操作できません。これらの操作を実施する前に、必ず車両を安全な場所に停止させ、パーキングブレーキをかけてください。

1 イグニッションキーを ACC または ON の位置にします。
システムの電源が入ります。
- 電源を入れると、イグニッションキーを OFF にする直前に表示していた画面が表示されます。例えば、イグニッションを OFF にしたときに、本機がラジオモードだったのであれば、イグニッションを ON に戻したときも、本機はラジオモードになります。

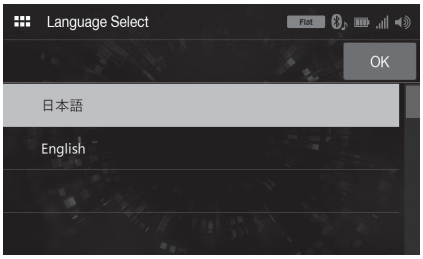
2 本機の電源を切るには、（ホーム）/（電源オフ）ボタンを 1 秒以上長押しします。

- システムを初めて使用するときは、言語選択画面が表示されます。目的の言語を選択して、**[OK]** をタッチします。
- 本機は、（ホーム）ボタン、ボタン、または （電話）ボタンをタッチして起動できます。
- 本機は精密機器です。長くご使用いただくため、丁寧に取り扱ってください。

初期システム起動

システムを初めて使用するときは、言語選択画面が表示されます。

言語を選択して、[OK] をタッチします。



- 車両が動いているとき、本機のボタンのいくつかは操作できません。これらの操作を実施する前に、必ず車両を安全な場所に停止させパーキングブレーキをかけてください。

音量を調整する

–/+を押して音量を調整します。
–/+を長押しすると、音量が小さくまたは大きくなります。
音量：0 - 35

素早く音量を下げる

音声ミュート機能を使うと、即座に音量をゼロに下げることができます。

1 （ミュート）ボタンをタッチして、ミュートモードを ON にします。
音声レベルがゼロになります。

2 （ミュート）ボタンを再度押すと、直前の音声レベルに戻ります。

タッチスイッチの操作

画面のタッチパネルを使って本機を操作することができます。

- ディスプレイを傷つけることのないように、必ず指の腹で軽く画面のボタンをタッチしてください。

画面のボタンやリストの項目を軽くタッチします。

- ボタンをタッチしても何の反応もない場合は、指を離してください。
- 操作できないボタンは暗く表示されます。

ホーム画面について

ホーム画面では、オーディオソースの選択に加えて、さまざまな設定や本機の操作をおこなうことができます。

（ホーム）ボタンをタッチします。
ホーム画面が表示されます。

■ ホーム画面の例

Radio	ラジオのメイン画面を表示します（23 ページ）。
USB	USB メモリーに保存されている音楽ファイル（MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV）、ビデオファイル（MP4/AVI/WMV/MOV）、および画像ファイル（JPG/PNG/BMP）を再生 / 表示できます（24 ページ）。 • USB メモリーが接続されていない場合、このウィジェットは使用できません。
iPod	iPod のメイン画面を表示します（26 ページ）。 • iPhone が接続されていない場合、このウィジェットは使用できません。
Smartphone	Apple CarPlay（22 ページ）または Android Auto（22 ページ）を使用できます。 • Apple CarPlay 機能対応の iPhone（5s 以降）または Android Auto アプリがインストールされたスマートフォンが接続されていない場合、このウィジェットは使用できません。 • Apple CarPlay または Android Auto が使用できる場合、ウィジェットは［Apple CarPlay］/［Android Auto］になります。
Bluetooth Audio	Bluetooth オーディオのメイン画面を表示します（32 ページ）。
AUX IN	外部入力（AUX）画面を表示します（33 ページ）。
カメラ	カメラの画像を表示します（34 ページ）。
設定	設定画面を表示します（10 ページ）。

インジケータ表示について

画面上部のインジケータバーには現在時刻など様々な情報が表示されます。

① 現在時刻を表示します。
12 時間表示と 24 時間表示を切り換えることができます（16 ページ）。
② 選択されているイコライザーを示します（11 ページ）。
③ Bluetooth 対応機器に接続すると点灯します。（接続を OFF に設定すると表示しません。）
（両方）：オーディオ機器とハンズフリー電話との Bluetooth 接続。

（オーディオ）：オーディオ機器との Bluetooth 接続。

（ハンズフリー）：ハンズフリー電話との Bluetooth 接続。
④ 接続されている Bluetooth 機器のバッテリー残量を示します。

バッテリー残量	レベル 3	レベル 2	レベル 1	残量なし
アイコン				

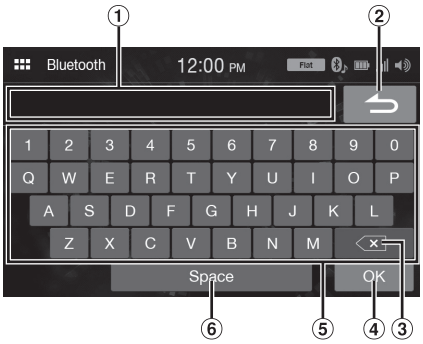
接続されている Bluetooth 機器によっては表示されないことがあります。
⑤ 接続されている Bluetooth 機器の信号の強度を示します。
Bluetooth が ON に設定されている場合に表示されます。

0	1	2	3	4	5

⑥ 音声の ON/OFF ステータスを示し、音量設定バーが表示されます。

文字と数字の入力方法（キーパッド）

表示される画面と手順は、使用する機能に応じて若干異なることがありますが、基本的な入力方法は同じです。



① 入力画面エリア
② キャンセル
キーボードモードが終了します。
③ （削除）
前の文字を削除します。
ここを 2 秒以上タッチすると入力したすべての文字が消去されます。
④ 入力した数字を確定します。
⑤ 文字キーパッド
⑥ スペース

設定

設定操作

1 （ホーム）ボタンをタッチします。
ホーム画面が表示されます。

［設定］ボタン

2 **［設定］**をタッチします。
設定メニュー画面が表示されます。

3 希望の設定アイコンをタッチします。

設定項目：
サウンド：「サウンド設定」（10 ページ）をご参照ください。
音量：「音量設定」（15 ページ）をご参照ください。
システム：「システム設定」（16 ページ）をご参照ください。
Smartphone：「Smartphone 設定」（18 ページ）をご参照ください。
AUX IN：「外部機器（AUX IN）設定」（18 ページ）をご参照ください。
Bluetooth：「Bluetooth の設定」（19 ページ）をご参照ください。
カメラ：「カメラ設定」（20 ページ）をご参照ください。
情報：「情報」（21 ページ）をご参照ください。

サウンド設定

設定メニュー画面で **［音質調整］**を選択します。
音質に関連する項目を設定できます。
［Advanced］または **［Simple］**をタッチして設定画面を変更します。
＜設定項目＞

Simple	
	Fad./Bal.（10 ページ）
	Bass/Treble（11 ページ）
	EQ（11 ページ）
	Sub.W（11 ページ）
Advanced*	
	X-Over（12 ページ）
	P-EQ（12 ページ）
	TCR（13 ページ）
	MX（13 ページ）
	Defeat（13 ページ）

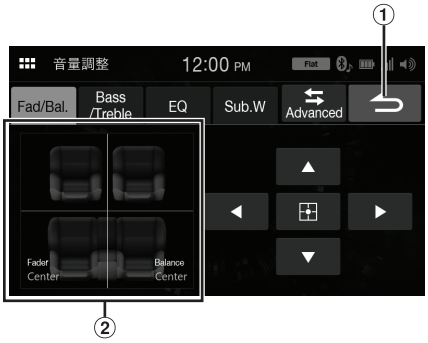
*［》］または［《］をタッチすると他の階層が表示されます。

シンプルなサウンド設定

サウンド設定メニュー画面で **［Simple］**を選択します。

設定項目：
Fad./Bal.、Bass/Treble、EQ、Sub.W

Fader/Balance の設定



① キャンセル
サウンド設定を終了します。
② Fader/Balance イメージエリア

イメージエリア内で目的のポイントをタッチするか、［◀］、［▲］、［▼］、または［▶］をタッチします。

Fader：
［10］フロント～［10］リヤ

Balance：
［10］左～［10］右

- 初期設定（Fader：Center、Balance：Center）に戻すには、［⊹］をタッチしてください。

低音 / 中音 / 高音を調整する

［▲］または［▼］をタッチして各項目を調整します。

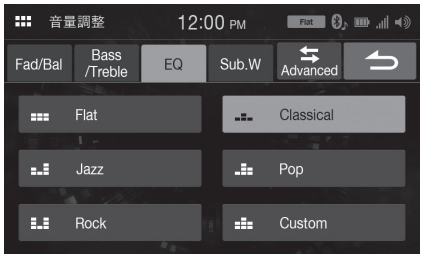
設定項目：
Bass、Middle、Treble

設定内容：
-7 ～ 7（初期設定：0）

- 初期設定（Bass：0、Middle：0、Treble：0）に戻すには、**［フラット］**をタッチします。
- Defeat が **［On］**のときは操作できません。

イコライザーを設定する

いろいろな音楽ソースに向けて 5 種類の一般的なイコライザー設定があらかじめセットされています。

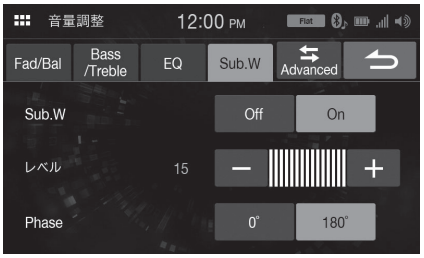


設定項目：
EQ

設定内容：
Flat（初期設定）、Jazz、Rock、Classical、Pop、Custom

- Defeat が **［On］**のときは操作できません。
- 1 種類のみ **［On］**に設定できます。
- **［Custom］**を選択すると、P-EQ　設定画面が表示されます（12 ページ）

サブウーハーの設定



サブウーハーの ON/OFF を切り替える

オプションのサブウーハーを本機に接続した場合は、以下の設定をおこなってください。

設定項目：
Sub.W

設定内容：
Off（初期設定）、On

サブウーハーのレベルを調整する

設定項目：
レベル

設定内容：
0（初期設定）～ 15

- ［サブウーハー］を **［On］**に設定しているときのみ設定できます。

サブウーハーのフェーズを設定する

サブウーハー出力フェーズを、サブウーハーノーマル（0°）またはサブウーハーリバース（180°）のいずれかに切り換えます。

設定項目：
フェーズ

設定内容：
0°（初期設定）、180°

- ［サブウーハー］を **［On］**に設定しているときのみ設定できます。

詳細なサウンド設定

サウンド設定メニュー画面で **［Advanced］**を選択します。

設定項目：
X-Over、P-EQ、TCR、MX、Defeat

クロスオーバー（X-Over）を調整する

以下の手順を実施する前に、「クロスオーバーについて」（14 ページ）をご参照ください。

設定項目：
X-Over

1 【チャンネル】をタッチし、チャンネルを選択します。
タッチするたびにチャンネルが変わります。

- 選択されているチャンネルは赤で表示されます。

Front → Rear → SubW → Front
HPF HPF LPF HPF

2 クロスオーバーを好みの値に設定します。

<u>カットオフ周波数を選択する</u>

［周波数］の［◀］または［▶］タッチし、カットオフ周波数を選択します。

設定内容：
20 / 25 / 31.5 / 40 / 50 / 63 / 80（初期設定）/ 100 / 125 / 160 / 200 Hz

<u>スロープを調整する</u>

［スロープ］の［◀］または［▶］をタッチし、HPF または LPF スロープを調整します。

設定内容：
0（初期設定）/ 6 / 12 / 18 / 24 dB/oct.

<u>レベルを調整する</u>

［レベル］の［–］または［+］をタッチし、HPF または LPF レベルを調整します。

設定内容：
-12 ～ 0 dB（初期設定：0）

3 手順 1 ～ 2 を繰り返して、他のチャンネルも調整します。

4 調整した設定値を保存するには、【プリセット 1】、【プリセット 2】、または【プリセット 3】を 2 秒以上長押しします。

- **【フラット】**をタッチすると全ての値が初期化されます。
- サブウーハーの設定が **【Off】**のとき、サブウーハーの設定は編集できません（11 ページ）。
- X-OVER は、接続したスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。

<u>X-Over 調整値を呼び出す</u>

プリセットした X-Over 調整値を呼び出します。

X-Over 画面で【プリセット 1】、【プリセット 2】、または【プリセット 3】をタッチします。
プリセットに保存された値が呼び出されます。

パラメトリック EQ（P-EQ）を調整する

パラメトリック EQ（P-EQ）では、フロントとリヤのスピーカーの中心周波数/Q 係数(帯域幅)/レベルを独立して調整できます。調整できるのは近似の周波数帯域だけですが、サウンドの小さな補正を実施して詳細な調整をおこなうことができます。

設定項目：
P-EQ

- Defeat が **【On】**のときは操作できません。

1 P-EQ を好みの値に設定します。

<u>帯域幅を調整する</u>

【バンド】をタッチし、調整する帯域幅を選択します。
Band1 → Band2 → ••• → Band8 → Band9 → Band1

- 画面をタッチして帯域幅を直接選択することもできます。

<u>周波数を調整する</u>

［周波数］の［◀］または［▶］をタッチし、選択した帯域幅の周波数を調整します。

調整可能な周波数帯域：
20 Hz ～ 20 kHz（1/3 オクターブきざみ）

Band1: 20 Hz ～ 100 Hz (63 Hz)
Band2: 63 Hz ～ 315 Hz (125 Hz)
Band3: 125 Hz ～ 500 Hz (250 Hz)
Band4: 250 Hz ～ 1 kHz (500 Hz)
Band5: 500 Hz ～ 2 kHz (1 kHz)
Band6: 1 kHz ～ 4 kHz (2 kHz)
Band7: 2 kHz ～ 7.2 kHz (4 kHz)
Band8: 5.8 kHz ～ 12 kHz (8 kHz)
Band9: 9 kHz ～ 20 kHz (16 kHz)

<u>レベルを調整する</u>

［レベル］の［–］または［+］をタッチし、選択した帯域幅のレベルを調整します。

設定内容：
-7 ～ 7（初期設定：0）

<u>帯域幅を調整する</u>

［Q 調整］の［◀］または［▶］をタッチし、帯域幅を選択します。

設定内容：
Narrow / Medium / Wide（初期設定）

2 別の帯域幅を調整するには、手順 1 を繰り返し、すべての帯域幅を調整します。

3 調整した設定値を保存するには、【プリセット 1】、【プリセット 2】、または【プリセット 3】を 2 秒以上長押しします。

- Band2 と Band5 は Bass および Middle のコントロールと同じです。Bass と Treble の設定の詳細については、「低音 / 中音 / 高音を調整する」（11 ページ）をご参照ください。
- 隣接する帯域幅の周波数を超えて設定することはできません。
- P-EQ は、接続したスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。
- P-EQ 設定を適用するには、［EQ］を【Custom】に設定します（11 ページ）。
- 【フラット】をタッチすると全ての値が初期化されます。

P-EQ 調整値を呼び出す

プリセットした P-EQ 調整値を呼び出します。

P-EQ 画面で【プリセット 1】、【プリセット 2】、または【プリセット 3】をタッチします。
プリセットに保存された値が呼び出されます。

- プリセットは［EQ］設定の【Custom】から呼び出すことができます（11 ページ）。

タイムコレクション（TCR）を調整する

以下の手順を実施する前に、「タイムコレクションについて」（14 ページ）をご参照ください。

修正モード

設定項目：
TCR

1 修正モードボタンをタッチし、【ms】、【cm】、または【inch】を選択します。

2 各スピーカーに対し【–】または【+】をタッチし、時間や距離を調整します。
0.0 ミリ秒～ 9.9 ミリ秒（0.1 ミリ秒きざみ）
0.0 cm（0.0 インチ）～ 336.6 cm（133.7 インチ）（3.4 cm きざみ）
すべてのスピーカーの設定値は 15 ms または 510 ㎝ の範囲で調整できます。

3 調整した設定値を保存するには、【プリセット 1】、【プリセット 2】、または【プリセット 3】を 2 秒以上長押しします。

- 【フラット】をタッチすると全ての値が 0.0 に設定化されます。
- サブウーハーの設定が【Off】のとき、サブウーハーの設定は操作できません（11 ページ）。

プリセットを呼び出す

プリセットした値を呼び出します。

タイムコレクション画面で【プリセット 1】、【プリセット 2】、または【プリセット 3】をタッチします。
プリセットに保存された値が呼び出されます。

Media Xpander（MX）を設定する

Media Xpander（MX）は、音源に関係なくボーカルや楽器の音を際立たせます。走行中の雑音が多い車内でも、USB メモリーや iPod で音楽を明瞭に再生できます。

設定項目：
MX

1 ［All MX OFF/ON］の【On】をタッチします。

2 【Off】、【▂▯▯】、【▂▄▯】、または【▂▄▆】のいずれかをタッチします。

- MX モードを OFF するには、手順 1 で【Off】に設定します。
- MP3/WMA/AAC には個別の MX 設定をすることができます。
- Defeat が【On】のときは操作できません。
- MX の設定は、ソースが選択されているときのみ設定することができます。

Defeat を設定する

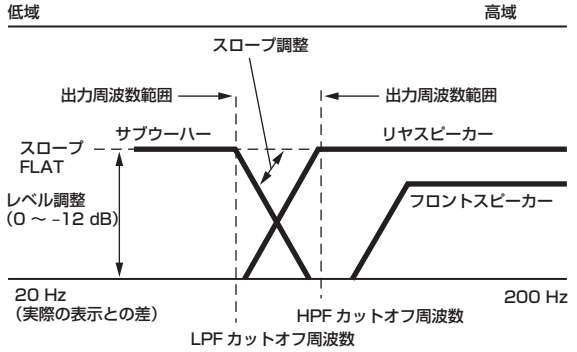
Defeat を【On】にすると、イコライザーの設定は OFF になります。これにより、これらの機能に対しておこなっていた設定がすべて無効になります。

設定項目：
Defeat
設定内容：
Off（初期設定）/On

クロスオーバーについて

クロスオーバー（X-OVER）：
本機はアクティブクロスオーバーを搭載しています。クロスオーバーは、出力する周波数を各チャンネルごとに制御します。これにより、各スピーカーは、最適な周波数で出力することができます。
クロスオーバーは、各バンドの HPF（ハイパスフィルター）や LPF（ローパスフィルター）を調整し、スロープ（フィルターの減衰特性の傾き）も調整します。
調整は、スピーカーの再生特性に合わせておこなってください。スピーカーによっては、パッシブネットワークは不要な場合があります。これについて不明な場合は、正規のアルパイン販売店にご相談ください。

	カットオフ周波数（1/3 オクターブステップ）		スロープ		レベル
	HPF	LPF	HPF	LPF	
サブウーハー (LPF)	----	20 Hz ～ 200 Hz	----	0、6、12、18、24 dB/oct.	0 ～ -12 dB
リヤスピーカー (HPF)	20 Hz ～ 200 Hz	----	0、6、12、18、24 dB/oct.	----	0 ～ -12 dB
フロントスピーカー (HPF)	20 Hz ～ 200 Hz	----	0、6、12、18、24 dB/oct.	----	0 ～ -12 dB



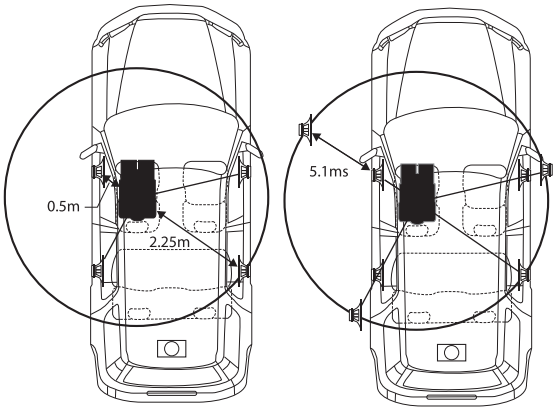
- HPF（ハイパスフィルター）：低音域をカットし、高音域を通過させます。
- LPF（ローパスフィルター）：高音域をカットし、低音域を通過させます。
- スロープ：1　オクターブの周波数変更に対するレベルの変更（dB）
- スロープ値が高くなるほど、スロープは急勾配になります。
- HPまたはLPフィルターを回避するために、スロープをFLATに調整してください。
- HPF を ON にしないでツイーターを使ったり、低音域に設定しないでください。低音域によるスピーカーの損傷の原因になります。
- 調整は、接続したスピーカーの推奨クロスオーバー周波数に合わせておこなってください。スピーカーの推奨クロスオーバー周波数を確認してください。推奨外の周波数範囲に調整すると、スピーカーの損傷の原因になります。
  アルパイン製スピーカーの推奨クロスオーバー周波数については、個々の取扱説明書を参照してください。
  推奨値外のクロスオーバーを使用することでスピーカーに損傷や故障が生じたとしても、当社は責任を負いません。

タイムコレクションについて

タイムコレクションは音が各スピーカーから耳に届くまでの時間を補正し、距離の違いによって生じる到達時間差を調整することが出来ます。

例 1 リスニング位置：フロント左側座席

フロント左スピーカーの時間補正値を高い値に、リヤ右スピーカーを低い値に調整してください。



リスニング位置とそれぞれのスピーカーまでの距離が異なるため、音のバランスがとれていません。
フロント左スピーカーとリヤ右スピーカーの距離の差は 1.75m です。
上図におけるフロント左スピーカーの時間補正値を、ここで計算します。

条件：
最も遠いスピーカー　－　リスニング位置：2.25m
フロント左スピーカー　－　リスニング位置：0.5m
計算：L = 2.25m - 0.5m = 1.75m
補正時間 = 1.75 ÷ 343※ × 1,000 = 5.1（ミリ秒）

* 音速：20° C のとき、343m/s (765mph)

言い換えると、フロント左スピーカーに 5.1 ミリ秒の時間補正値を与えることで、リスナーからのその距離は、最も遠いスピーカーまでの距離と同じであるように設定できるということです。

時間補正を実施することで、音がリスニング位置に届く時間の差を無くすことができます。
フロント左スピーカーの時間は 5.1 ミリ秒補正され、他のスピーカーの音と同時にリスニング位置に届くことになります。

例 2 リスニング位置：全座席

各スピーカーの時間補正レベルがほぼ同じになるように調整してください。

1 **リスニング位置（運転席など）に座り、リスナーの頭とそれぞれのスピーカーの距離（メートル）を測定します。**

2 **最も遠いスピーカーの距離の補正値とその他のスピーカーの距離の補正値の差を計算します。**

L = （最も遠いスピーカーまでの距離）- （他のスピーカーまでの距離）

これらの値は、異なるスピーカーに対する時間補正値です。これらの値を設定して、それぞれの音が他のスピーカーの音と同時にリスニング位置に届くようにします。

時間補正値リスト

時間差（ミリ秒）	距離 (cm)	距離（インチ）	時間差（ミリ秒）	距離 (cm)	距離（インチ）
0.0	0.0	0.0	5.1	173.4	68.3
0.1	3.4	1.3	5.2	176.8	69.7
0.2	6.8	2.7	5.3	180.2	71.0
0.3	10.2	4.0	5.4	183.6	72.4
0.4	13.6	5.4	5.5	187.0	73.7
0.5	17.0	6.7	5.6	190.4	75.0
0.6	20.4	8.0	5.7	193.8	76.4
0.7	23.8	9.4	5.8	197.2	77.7
0.8	27.2	10.7	5.9	200.6	79.1
0.9	30.6	12.1	6.0	204.0	80.4
1.0	34.0	13.4	6.1	207.4	81.7
1.1	37.4	14.7	6.2	210.8	83.1
1.2	40.8	16.1	6.3	214.2	84.4
1.3	44.2	17.4	6.4	217.6	85.8
1.4	47.6	18.8	6.5	221.0	87.1
1.5	51.0	20.1	6.6	224.4	88.4
1.6	54.4	21.4	6.7	227.8	89.8
1.7	57.8	22.8	6.8	231.2	91.1
1.8	61.2	24.1	6.9	234.6	92.5
1.9	64.6	25.5	7.0	238.0	93.8
2.0	68.0	26.8	7.1	241.4	95.1
2.1	71.4	28.1	7.2	244.8	96.5
2.2	74.8	29.5	7.3	248.2	97.8
2.3	78.2	30.8	7.4	251.6	99.2
2.4	81.6	32.2	7.5	255.0	100.5
2.5	85.0	33.5	7.6	258.4	101.8
2.6	88.4	34.8	7.7	261.8	103.2
2.7	91.8	36.2	7.8	265.2	104.5
2.8	95.2	37.5	7.9	268.6	105.9
2.9	98.6	38.9	8.0	272.0	107.2
3.0	102.0	40.2	8.1	275.4	108.5
3.1	105.4	41.5	8.2	278.8	109.9
3.2	108.8	42.9	8.3	282.2	111.2
3.3	112.2	44.2	8.4	285.6	112.6
3.4	115.6	45.6	8.5	289.0	113.9
3.5	119.0	46.9	8.6	292.4	115.2
3.6	122.4	48.2	8.7	295.8	116.6
3.7	125.8	49.6	8.8	299.2	117.9
3.8	129.2	50.9	8.9	302.6	119.3
3.9	132.6	52.3	9.0	306.0	120.6
4.0	136.0	53.6	9.1	309.4	121.9
4.1	139.4	54.9	9.2	312.8	123.3
4.2	142.8	56.3	9.3	316.2	124.6
4.3	146.2	57.6	9.4	319.6	126.0
4.4	149.6	59.0	9.5	323.0	127.3
4.5	153.0	60.3	9.6	326.4	128.6
4.6	156.4	61.6	9.7	329.8	130.0
4.7	159.8	63.0	9.8	333.2	131.3
4.8	163.2	64.3	9.9	336.6	132.7
4.9	166.6	65.7			
5.0	170.0	67.0			

音量設定

設定メニュー画面で**【音量】**を選択します。

電話の音量設定

音量設定メニュー画面で**【Phone】**を選択します。

着信音量を調整する

通話中に着信音の音量を調整できます。

設定項目：
着信音量

設定内容：
01 ～ 11（初期設定：05）

受話音量を調整する

相手の音声の音量を調整できます。

設定項目：
受話音量

設定内容：
01 ～ 11（初期設定：05）

マイク音量を調整する

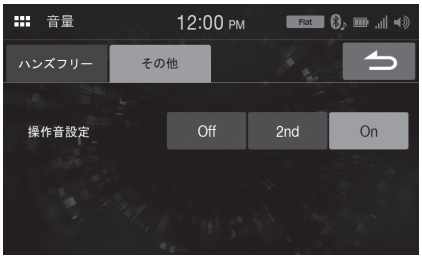
通話中に自分の音声の音量を調整できます。

設定項目：
マイク音量

設定内容：
01 ～ 11（初期設定：05）

電話以外の音量設定（その他）

音量設定メニュー画面で**［その他］**を選択します。



操作音設定

ボタンをタッチしたときの音の音量を変更できます。

設定項目：
操作音設定

設定内容：
Off、2nd、On

システム設定

設定メニュー画面で**［システム］**を選択します。

設定項目：
システム

設定内容：
時計、明るさ、言語、リセット

時計設定

システム設定メニュー画面で**［時計］**を選択します。

設定項目：
時計

設定項目：
12h（初期設定）、24h

設定内容：
01 ～ 12 または 00 ～ 23、00 ～ 59、AM/PM

ディスプレイオフ設定

本機の電源が OFF のときに時計を表示するには、［ディスプレイオフ］を**［On］**に設定します。

設定項目：
ディスプレイオフ

設定内容：
Off（初期設定）、On

画面 /LED のカスタマイズ（明るさ）

システム設定メニュー画面で**［明るさ］**を選択します。

バックライトの明るさを設定する（調光）

バックライトは、液晶パネルに組み込まれている LED を光源としています。車内の明るさによってバックライトの明るさを調整し、見やすくします。

設定項目：
明るさ

設定内容：
Off、On、自動（初期設定）

Off：	自動ディマーモードを無効にし、モニターのバックライトを明るくします。
On：	モニターのバックライトを暗くします。
自動：	モニターのバックグラウンド照明を、車内の明るさに合わせて自動で調整します。

- ［On］に設定すると、「夜間のボタン照明を調整する」（17 ページ）のボタン照明と「バックライトの最小レベルを調整する」（17 ページ）にも設定が適用されます。

バックライトの最小レベルを調整する

バックライトの明るさを調整することができます。この機能は、夜に運転する際の画面の明るさを変更する場合などに利用できます。

設定項目：
ディスプレイの明るさ

設定内容：
-14 ～ 14（初期設定：0）

- ［明るさ］を**【On】**または**【自動】**に設定しているときのみ設定できます。

夜間のボタン照明を調整する

夜間のボタン照明の明るさをディマー設定で調整できます。

設定項目：
照光スイッチの明るさ

設定レベル：
-2 ～ 2（初期設定：0）

- ［明るさ］を**【On】**または**【自動】**に設定しているときのみ設定できます。

言語設定

システム設定メニュー画面で**【言語】**を選択します。選択した言語で本機のセットアップメニューやフィードバック情報などを表示できます。

設定項目：
言語

設定内容：
日本語、English（英語）

- 現在選択されている言語が表示されます。

リセット

システム設定メニュー画面で**【リセット】**を選択します。すべてのデータを工場出荷時の設定に戻すことができます。操作をおこなう前に、USB メモリーなどを本体から取り外してください。

設定項目：
リセット

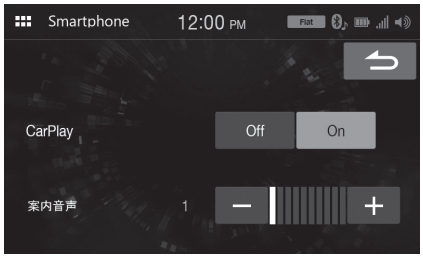
1 **【リセット】をタッチします。**

2 **確認メッセージが表示されたら【はい】をタッチします。**
システムが初期化を開始します。

- システムの再起動が完了するまでは、電源を ON/OFF したり、イグニッションキーの位置を変えたりしないでください。

Smartphone 設定

設定メニュー画面で【Smartphone】を選択します。



Apple CarPlay の設定

設定項目：
Smartphone

Apple CarPlay モードを使用する

設定項目：
CarPlay

設定内容：
Off、On（初期設定）

- iPod モードで iPhone を使うには、【Off】を選択します。

音声案内の音量を調整する

設定項目：
音声案内音量

設定内容：
00 ～ 10

外部機器（AUX IN）設定

設定メニュー画面で【AUX IN】を選択します。
外部機器（AUX IN）に関連する項目を設定できます。

外部機器（AUX IN）画質の設定

外部機器（AUX IN）の画質を調整することができます。

設定項目：
画質

その他設定項目：
調整

明るさを調整する

設定項目：
明るさ

設定内容：
－5～5（初期設定：0）

- 明るさを最小（－5）～最大（5）の間で調整できます。

ディスプレイの色を調整する

設定項目：
色の濃さ

設定内容：
－5～5（初期設定：0）

- 色の濃さを最小（－5）～最大（5）の間で調整できます。

ディスプレイのコントラストを調整する

設定項目：
コントラスト

設定内容：
－5～5（初期設定：0）

- コントラストを最小（－5）～最大（5）の間で調整できます。

外部機器（AUX IN）の信号入力を設定する

ビデオ入力信号の種類を選択できます。

設定項目：
Aux Video Signal

設定内容：
NTSC（初期設定）/ PAL

Bluetooth の設定

設定メニュー画面で【Bluetooth】を選択します。

設定項目：
Bluetooth

設定内容：
機器、情報、サーチ

デバイス設定

Bluetooth 設定メニュー画面で【機器】を選択します。
Bluetooth 対応機器を登録して設定できます。

Bluetooth 機器をペアリングする

1 Bluetooth 設定メニュー画面で【機器】をタッチします。

2 [No Device] の【+】をタッチします。

3 Bluetooth 機器上で本機（DA7）を検索し選択します。

- Bluetooth 登録のプロセスはデバイスのバージョンおよび SSP（Simple Secure Pairing）によって異なります。
  4 ～ 6 文字のパスコードが本機に表示されたら、Bluetooth 機器でパスコードを入力してください。
- 6 文字のパスキーが本機に表示されたら、同じパスキーが Bluetooth 機器にも表示されていることを確認し、画面に表示される手順に従ってください。

Bluetooth 機器を設定する

登録されているペアリング済みの 4 台の Bluetooth 機器を選択します。

1 Bluetooth 設定メニュー画面で【機器】をタッチします。

2 ペアリング済み機器のリストから接続する機器の【♪】（オーディオ）または【📞】（ハンズフリー）をタッチします。

Bluetooth 機器をリストから削除する

接続した Bluetooth 機器の情報を削除できます。

1 Bluetooth 設定メニュー画面で【機器】をタッチします。

2 ペアリング済み機器のリストから削除する Bluetooth 機器の【–】をタッチします。

3 【はい】をタッチします。

- 【いいえ】をタッチすると操作を取り消します。

Bluetooth 情報を表示する

Bluetooth 設定メニュー画面で【情報】を選択します。
本機の Bluetooth 機器名と機器アドレスを表示することができます。

設定項目：
情報

- 【全デバイスの登録を解除】をタッチすると、ペアリングされたすべての機器が本機から削除されます。

Bluetooth 機器をサーチする

設定項目：
サーチ

1 Bluetooth 設定メニュー画面で【サーチ】をタッチします。
Bluetooth 機器をサーチしてリストに表示できます。

2 リストで接続する機器をタッチします。
- Bluetooth 対応の携帯電話を 4 台まで登録できます。
- Bluetooth ハンズフリー電話と Bluetooth オーディオにそれぞれ 1 台ずつ Bluetooth 機器を接続できます。

3 機器の登録が完了するとメッセージが表示されます。

- Bluetooth 登録のプロセスはデバイスのバージョンおよび SSP（Simple Secure Pairing）によって異なります。
  4 ～ 6 文字のパスコードが本機に表示されたら、Bluetooth 機器を使ってパスコードを入力してください。
  6 文字のパスキーが本機に表示されたら、同じパスキーが Bluetooth 機器に表示されていることを確認してください。
- 機器を 4 台すべて登録した場合は、5 台目の機器は登録できません。別の機器を登録するには、4 台の中の 1 台を削除する必要があります。

電話帳をダウンロードする

ハンズフリー機器が接続されている場合、機器から電話帳をダウンロードできます。

- デバイスの接続を解除すると、ダウンロードした電話帳は表示されなくなります。

カメラ設定

設定メニュー画面で**［カメラ］**を選択します。
カメラに関連する項目を設定できます。

［ページ 1］、［ページ 2］、または［ページ 3］をタッチして画面を変更します。

カメラ接続設定

接続するカメラ機器を設定します。

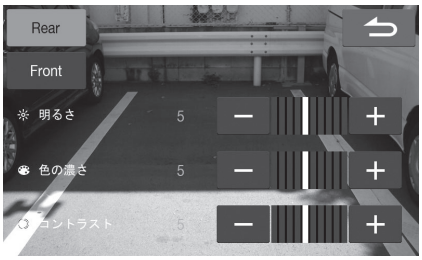
設定項目：
カメラ 1、カメラ 2

設定内容：
Off、Rear、Front、サイド（右）、サイド（左）、その他 1、その他 2

- ［カメラ 1］に設定した設定内容は［カメラ 2］には表示されません。［カメラ 2］に設定した設定内容は［カメラ 1］には表示されません。

カメラ画質の設定

カメラ 1 とカメラ 2 の画質を調整できます。



設定項目：
画質（ページ 2）

その他の設定項目：
調整
- カメラ 2 のボタンをタッチすると、カメラ 2 の設定画面に切り替えることができます。

- ［カメラ 1］と［カメラ 2］が両方とも**［Off］**に設定されている場合、**［ページ 2］**は選択できません。

明るさを調整する

設定項目：
明るさ

設定内容：
-5 ～ 5（初期設定：0）

- 明るさを最小（-5）～最大（5）の間で調整できます。

ディスプレイの色を調整する

設定項目：
色の濃さ

設定内容：
-5 ～ 5（初期設定：0）

- 色を最小（-5）～最大（5）の間で調整できます。

ディスプレイのコントラストを調整する

設定項目：
コントラスト

設定内容：
-5 ～ 5（初期設定：0）

- コントラストを最小（-5）～最大（5）の間で調整できます。

カメラ信号入力を設定する

カメラを接続すると、ビデオ入力信号の種類を選択できます。

その他の設定項目：
カメラ信号（ページ 2）
設定内容：
NTSC（初期設定）/ PAL

- ［カメラ 1］と［カメラ 2］が両方とも**［Off］**に設定されている場合、**［ページ 2］**は選択できません。

リアカメラガイドを ON/OFF する

リアカメラの画像を画面に表示するとき、ガメラガイドの表示と非表示を設定できます。

設定項目：
リアカメラガイド（ページ 3）

設定内容：
Off / On
- ［カメラ 1］と［カメラ 2］が両方とも**［Off］**に設定されている場合、**［ページ 3］**は選択できません。
- この設定を使用するには、［カメラ 1］または［カメラ 2］を**［Rear］**に設定します。

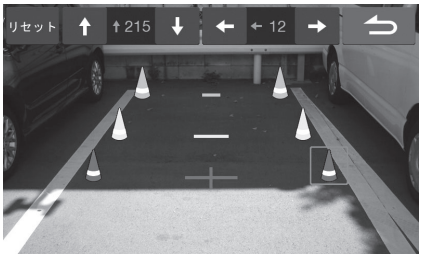
リアカメラガイドを調整する

カメラガイドの位置を調整できます。

設定項目：
リアカメラガイド（ページ 3）

その他の設定項目：
調整

1 **［ページ 3］の【調整】をタッチします。**
カメラガイド調整画面が表示されます。
- ［カメラ 1］と［カメラ 2］が両方とも**【Off】**に設定されている場合、**【ページ 3】**は選択できません。
- この設定を使用するには、［カメラ 1］または［カメラ 2］を**【Rear】**に設定します。
- この設定を使用するには、［リアカメラガイド］を**【On】**に設定します。



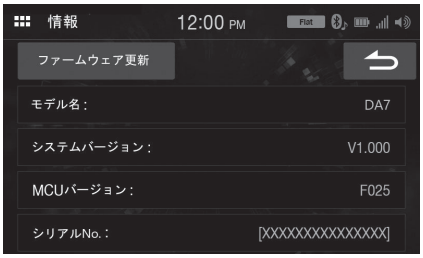
2 **移動するアイコンをタッチします。**

3 **［↑］、［↓］、［←］、または［→］をタッチしてアイコンを移動します。**
- **【リセット】**をタッチすると調整がクリアされ、ガイドが初期の設定に戻ります。

4 **［⮌］をタッチして調整を完了し、前の画面に戻ります。**

情報

設定メニュー画面で**【情報】**を選択します。
このシステムに関する情報が表示されます。



Apple CarPlay をつないで使う

Apple CarPlay で、お使いの iPhone をよりスマートかつ安全に車内でお使いいただけます。Apple CarPlay を使えば、運転中に iPhone でしたいことを取り込んで、本機で操作できるようになります。行き方を調べる、電話をかける、メッセージを送受信する、音楽を聴くなど、運転に集中したまますべてをこなすことができます。iPhone を本機に接続するだけで準備完了です。

- 本機能をご利用の前に、Lightning USB ケーブル（iPhone に付属）を使って、iPhone を本機に接続してください。
- 運転中は、いくつかの機能が利用できない場合があります。
- 本機で使える iPhone の機種については、「iPhone の iPod モード（オプション）」（26 ページ）をご参照ください。Apple CarPlay 機能に対応するのは、iPhone 5s 以降の機種のみになります。
- Apple CarPlay を操作する前に，「Apple CarPlay」を **[On]**（18 ページ）に設定してください。

Apple CarPlay にアクセスする

1 **（ホーム）ボタンをタッチします。**
ホーム画面が表示されます。

2 **[Apple CarPlay] をタッチします。**
Apple CarPlay 画面が表示されます。
本機で希望するアプリのアイコンをタッチするか、🎤をタッチして Siri 機能をお使いください。

- iPhone 5s 以降の機種を再接続し、ポップアップメッセージ「Apple CarPlay connected.」を 5 秒以内にタッチして、Apple CarPlay 画面にアクセスしてください。
- ホーム画面に表示するためには、アプリは対応する Apple CarPlay でなくてはなりません。

Android Auto をつないで使う

Android Auto とは

Android Auto は、運転中にスマートフォンからアプリをより簡単に使えるよう設計されています。Google マップでナビゲートしたり、お気に入りのアプリからプレイリストやポッドキャストを聴いたりすることができます。

Android Auto を有効にする

Google Play ストアから Android Auto アプリをダウンロードし、操作してください。
スマートフォンを本機の USB コネクタに接続し、プロンプトにしたがってスマートフォンと本機のペアリングをおこなってください。

- Android Auto を搭載したスマートフォンを接続すると、その他の電話の Bluetooth 接続を切り、本機とペアリングをおこないます。

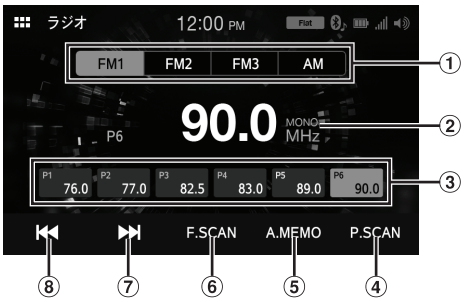
1 **（ホーム）ボタンをタッチします。**
ホーム画面が表示されます。

2 **[Android Auto] をタッチします。**
Android Auto 画面が表示されます。

- 電話をしたり、音声認識機能や Android Auto が対応するナビゲーションアプリなどを使うことができます。
- ドライバーに必要な安全策を備えた Google 認可のアプリのみを使用することができます。

ラジオ

■ ラジオメイン画面の例



① バンドボタン
バンドの切り換え
② インフォメーション表示
③ プリセットボタン
短くタッチしてプリセット局を表示します。
1 秒以上タッチして、現在の放送局をプリセット局として記憶します。
④ それぞれのプリセット局を約 5 秒間再生します。
⑤ 自動で放送局を記憶
⑥ 放送局をサーチして、約 5 秒間再生します。
⑦ アップスイッチ
長押しして周波数を連続で変更します。
⑧ ダウンスイッチ
長押しして周波数を連続で変更します。

ラジオの基本操作

ラジオを聴く

1 ⊞（ホーム）ボタンをタッチしてラジオモードを選択します。
ラジオモード画面が表示されます。

2 希望のバンドを **【FM1】** / **【FM2】** / **【FM3】** / **【AM】** から選択します。

3 **【◀◀】** または **【▶▶】** をタッチして、ラジオの周波数を変更します。
長押しして周波数を連続で変更します。

放送局を手動でプリセットする

1 手動または自動チューニングで、プリセットメモリーに保存したいラジオ局を受信します。

2 保存するプリセット番号を 1 秒以上タッチします。
選択した放送局が保存されます。

3 手順を繰り返して、同じバンドに最大 6 つの放送局を保存できます。
他のバンドにこの手順を使用するには、希望のバンドを選んで手順を繰り返してください。
プリセットメモリーには合計 24 の放送局を保存できます。(FM1、FM2、FM3、および AM にそれぞれ 6 つの放送局)。

- プリセット番号にすでにプリセットメモリーが設定されている場合、そのメモリーがクリアされ、新しい放送局が記憶されます。

放送局を自動でプリセットする

選択したバンドの中の受信状態が強い 6 つの放送局を自動で探して、周波数の小さい順に保存することができます。

希望のバンドを選択して、【A.MEMO】を長押しします。
受信状態が強い 6 つの放送局を自動で探して、周波数の小さい順にプリセットボタンに保存します。
自動保存が完了すると、プリセット 1 に保存した局が選択されます。

- 放送局がまったく保存されなかった場合、自動保存の手順を開始する前に聞いていた放送局に戻ります。
- チューナーが自動で放送局を探している間に、**【A.MEMO】** をタッチすると、このプロセスを取り消すことができます。取り消すと、チューナーのプリセットが前の設定に戻ります。

プリセット局に合わせる

希望のバンドを選択した後、希望のプリセットボタンをタッチします。

放送局を探す

放送局を自動で探して、それぞれの放送局を約 5 秒間再生できます。

1 希望のバンドを選択した後、**[F.SCAN]** をタッチします。
放送局がサーチされます。

2 希望の放送局が受信されたら、**【F.SCAN】** を再度タッチします。

プリセット局を探す

プリセット局を自動で受信して、それぞれのプリセット局を約 5 秒間再生できます。

1 希望のバンドを選択した後、**[P.SCAN]** をタッチします。
プリセット局が受信されます。

2 希望の放送局が受信されたら、**【P.SCAN】** を再度タッチします。

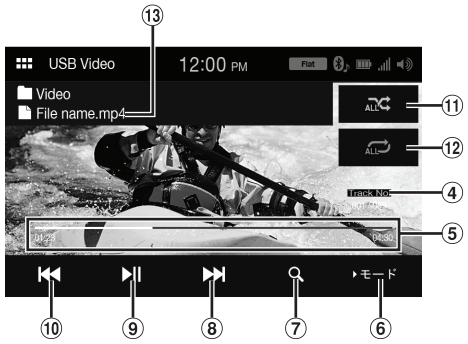
USB メモリー（オプション）

USB メモリーに保存している音楽ファイル（MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV）やビデオファイル（MP4/AVI/WMV/MOV）および写真ファイル（JPG/PNG/BMP）を本システム内部のプレーヤーで再生することができます。

> ⚠ 警告
> **車両を運転中にドライバーがビデオを見るのは危険です。ドライバーの前方への注意がそがれ、事故に至るおそれがあります。**
>
> **車両を停止しパーキングブレーキをかけている場合を除き、ドライバーがビデオを見ることができないように、本機を正しく設置してください。**
>
> **本機を正しく設置していない場合、ドライバーが運転中にビデオを見ることが可能になり、前方への注意がそがれ、事故に至るおそれがあります。また、ドライバーや他の人々を巻き込み重傷を負うおそれがあります。**

■ USB オーディオモード画面

■ USB ビデオモード画面



■ USB フォトモード画面

① アートワーク表示
② インフォメーション表示
③ スキャン再生
④ 現在の曲番号 / 全曲数
⑤ 経過時間 / 合計再生時間
⑥ USB モードの切り替え
⑦ サーチ画面を表示
⑧ アップスイッチ
次のファイルの頭出しをします。タッチし続けると早送りします。
⑨ 一時停止と再生
⑩ ダウンスイッチ
再生しているファイルと前のファイルの頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。
⑪ シャッフルモード
⑫ リピートモード
⑬ ファイル名
⑭ 回転
⑮ 拡大
⑯ 縮小
⑰ スライドショーを再生

ビデオ / フォトファイル再生中の操作画面

USB ビデオ /USB フォト再生中に画面をタッチします。
USB ビデオ /USB フォト操作画面が表示されます。

- 操作画面は、操作をおこなった 5 秒後に、USB ビデオ /USB フォトの再生画面に切り換わります。
- 安全のため、運転中はビデオは表示されず、オーディオのみ再生されます。

再生

1 **（ホーム）ボタンをタッチし、USB モードを選択します。**
USB モード画面が表示されます。

2 **[▶モード] をタッチします。**

3 **希望のモードを選択します。**
♪: USB オーディオモード
: USB ビデオモード
: USB フォトモード

4 **【⏮】または【⏭】をタッチして、希望の曲（ファイル）を選択します。**

現在の（または前の）曲（ファイル）の頭出し：
【⏮】をタッチします。

早戻し：
【⏮】を長押しします。

次の曲（ファイル）の頭出し：
【⏭】をタッチします。

早送り：
【⏭】を長押しします。

5 **再生を一時停止するには、【⏯】をタッチします。（USB オーディオまたはビデオ）**
【⏯】を再度タッチすると再生が再開します。

- VBR（可変ビットレート）で記録されたファイルを再生する際は、再生時間が正しく表示されない場合があります。
- タグ情報がある場合は、アーティスト名、アルバム名、および曲名が表示されます。
- ID3 タグ /WMA タグ
  ID3 タグ /WMA タグが MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV ファイルに含まれる場合、ID3 タグ /WMA タグの情報が表示されます。（例：曲名、アーティスト名およびアルバム名）

早送り / 早戻し（USB ビデオ）

1 **再生中に【⏮】（早戻し）または【⏭】（早送り）を長押しします。**
早送り / 早戻しするには、1 秒以上長押しします。

2 **【⏮】または【⏭】から指を離すと通常の再生に戻ります。**

- 早送り / 早戻しの間は、音は再生されません。

リピート再生

1 **【】を長押しして、リピート再生モードを選択します。**

全ファイル : 全ファイルを繰り返し再生します。
ファイル : 現在再生中のファイルのみを繰り返し再生します。
フォルダ : フォルダ内のファイルのみを繰り返し再生します。

- **【全ファイル】**をタッチするだけでも、**【ファイル】**モードを選択できます。

シャッフル再生

1 **【】を長押しして、シャッフル再生モードを選択します。**

全ファイル : USB メモリー内のすべての曲がランダムな順序で再生されます。すべての曲が再生されるまで同じ曲は再度再生されません。
フォルダ : 1 つのフォルダがランダムに選択され、そのフォルダ内の曲が順番通りに再生されます。1 つのフォルダ内のすべての曲が再生された後、次のフォルダがランダムに選択されます。
OFF : シャッフルモード OFF

- **【】**をタッチするだけでも、**【全ファイル】**モードを選択できます。

希望の曲 / ビデオ / フォトをサーチする

1 **【】（サーチ）をタッチします。**

2 **【◀】または【▶】をタッチし、フォルダを選択します。**

3 **希望のファイル名をタッチします。**

フォルダ名を選択した後、別のフォルダ名またはファイル名を選択するには手順を繰り返します。

スライドショー（USB フォト）

スライドショーでは、フォトを 2 秒ごとに変えて表示します。
フォトモード画面で【】をタッチします。

USB ビデオ形式について

本機でサポートするビデオ形式を以下に示します。
- サポートするフォーマット MP4/AVI/WMV/MOV
- サポートするビデオコーディング H.264/MPEG-4 AVC
- サポートするオーディオコーディング MP3, AAC
- 最大ファイルサイズ 4GB

iPhone の iPod モード（オプション）

別売りの Lightning USB ケーブルなどが必要です。

- 本機は、USB コネクタで本機に接続している iPhone からのビデオ再生に対応していません。
- iPhone のインターネット機能や電話機能などは本機から制御できませんが、iPhone 自体から制御することができます。
- iPhone の iPod モードを操作する前に，［Apple CarPlay］を **［Off］** に設定してください（18 ページ）。

本機で使える iPhone の機種について

- 以下の機器は、テストを実施した結果、本機と動作することがわかっています。これ以前のバージョンの機能が正しく働くかどうかは保証できません。
  iPhone X
  iPhone 8
  iPhone 8 Plus
  iPhone 7
  iPhone 7 Plus
  iPhone SE
  iPhone 6s
  iPhone 6s Plus
  iPhone 6
  iPhone 6 Plus
  iPhone 5s

■ **iPod メイン画面の例**

① アートワーク表示
② インフォメーション表示*
③ リピートモード
④ 現在の曲番号 / 全曲数
⑤ 経過時間 / 合計再生時間
⑥ サーチ画面を表示
⑦ アップスイッチ
次のファイルの頭出しをします。タッチし続けると早送りします。
⑧ 一時停止と再生
⑨ ダウンスイッチ
再生しているファイルと前のファイルの頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。
⑩ シャッフルモード

* ポッドキャストモード

再生

1 ⊞（ホーム）ボタンをタッチし、iPod モードを選択します。
iPod モード画面が表示されます。

2 **［⏮］または［⏭］をタッチして希望の曲（ファイル）を選択します。**

現在の（または前の）曲（ファイル）の頭出し：
［⏮］をタッチします。

現在の曲を早戻し：
［⏮］を長押しします。

次の曲（ファイル）の頭出し：
［⏭］をタッチします。

現在の曲の早送り：
［⏭］を長押しします。

3 **再生を一時停止するには、［⏯］をタッチします。**

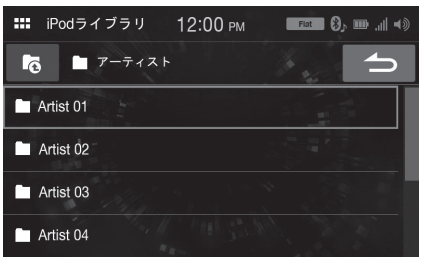
- 本機に接続する前に iPhone で曲を再生していた場合は、本機に接続しても再生を続けます。
- 1 つのエピソードに複数のチャプターがある場合があります。チャプターは［⏮］または［⏭］をタッチして変えることができます。
- iTunes で作成されたアーティスト名、アルバム名、曲名の文字数が長すぎる場合は、本機に接続したときに曲が再生されない場合があります。したがって、最大 64 文字を推奨します。本機でサポートする最大文字数は 64 です。
- 文字によっては正しく表示できない場合があります。

音楽ファイルのサーチ

iPhone には数千曲を保存することができます。そのため、本機は以下のサーチ機能を使って、様々なサーチをおこなうことができます。
プレイリスト / アーティスト / アルバム / ポッドキャスト / オーディオブック / ジャンル / 作曲者 / 曲 /iTunes ラジオモードの個々の階層を使って、以下の表に示すようにサーチを絞り込むことができます。
＜音楽サーチメニュー＞

階層 1	階層 2	階層 3	階層 4
ラジオ	—	—	—
プレイリスト	曲	—	—
アーティスト	アルバム	曲	—
アルバム	曲	—	—
曲	—	—	—
ジャンル	アーティスト	アルバム	曲
作曲者	アルバム	曲	—
ポッドキャスト	エピソード	—	—
オーディオブック	—	—	—

例：アーティスト名でサーチ
以下の例を用いて、アーティストサーチの実施方法を説明します。



1 再生中に【🔍】(サーチ)】をタッチします。

2 【アーティスト】をタッチします。
アーテイストサーチ画面が表示されます。

3 希望のアーティストを選択します。

4 希望のアルバム名をタッチします。
選択したアルバムのすべての曲が表示されます。

5 希望の曲名をタッチします。
選択した曲が再生されます。

- 【📁】をタッチすると、カテゴリー参照モード画面が表示されます。

リピート再生

1 【🔁】をタッチして、リピート再生モードを選択します。

2 希望のリピートモードを選択します。

全ファイル ALL🔁: 全ファイルを繰り返し再生します。
ファイル 🔁: 現在再生中のファイルのみを繰り返し再生します。
OFF 🔁: リピートモード OFF

シャッフル再生

1 【🔀】をタッチして、シャッフル再生モードを選択します。
選択したシャッフルモードに応じてボタンが変化します。

全ファイル ALL🔀: iPod に保存されているすべての曲がランダムな順序で再生されます。すべての曲が再生されるまで同じ曲は再度再生されません。
OFF 🔀: シャッフルモード OFF

Bluetooth 操作

使用前の設定

Bluetooth について

Bluetooth は、モバイル機器やパソコン間の短い距離の通信を可能にする無線技術です。これにより、Bluetooth 対応機器間でのハンズフリー電話やデータ通信が可能になります。機器間の距離が 10 メートル以内であれば、免許不要の 2.4 GHz 帯域幅における Bluetooth 通信が可能です。詳細は Bluetooth のホームページをご参照ください（http://www.bluetooth.com/）。

- Bluetooth のバージョンによっては、Bluetooth 対応機器が、本機と通信できない場合があります。
- すべての Bluetooth 対応機器と本機が正しく機能することは保証できません。Bluetooth 対応機器の取り扱いについては、アルパインインフォメーションセンターにご確認ください。
- 周囲の状況によっては、Bluetooth 無線接続が不安定になる場合があります。
- 電話をかける場合や設定操作をおこなう場合には、必ず車を安全な場所に停止させてください。
- 接続する Bluetooth 対応機器によっては、機能が異なる場合があります。接続する機器の取扱説明書もご参照ください。

ハンズフリー電話について

HFP（ハンズフリープロファイル）対応携帯電話を本機と一緒に使う場合は、ハンズフリーでの電話が可能です。

- 交通渋滞時や狭く曲がりくねった通りでのハンズフリー電話は避けてください。
- バックグラウンドのノイズを抑えるため、通話中は窓を閉めてください。
- 通話している両者ともハンズフリー機器を使っていたり、ノイズのある場所で電話をしたりする場合、他方の声が聞こえにくくなることがあります。
- 電話回線の状態や使用するモバイル機器によっては、声が不自然に聞こえる場合があります。
- マイクを使う場合は、最高の音質が得られるように、出来るだけマイクに直接話しかけてください。
- 携帯電話の機能のいくつかは、お使いのサービスプロバイダーのネットワーク設定や能力に依存します。また、機能のいくつかは、お使いのサービスプロバイダーによって有効にされない場合があります。そしてプロバイダーのネットワーク設定により、機能性が制限される場合があります。
  機能の有効性と機能性については、該当するサービスプロバイダーにご確認ください。
  機能、機能性、その他の製品仕様、および取扱説明書に記載の情報はすべて、最新の入手可能な情報に基づいており、印刷の時点で正確と考えられているものです。
  アルパイン社は、いかなる情報や仕様についても、通知や義務なく変更または修正する権利を保有します。
- iPhone 5s 以降の機種または Android Auto アプリをインストールした Android スマートフォンを接続した場合、操作画面が本セクションのものと異なる場合がありますのでご注意ください。

Bluetooth を使用する前に

ハンズフリー電話 / オーディオ機能を使用する前に、以下の設定が必要です。

Bluetooth 機器を本機に登録してください。

- 「Bluetooth の設定」（19 ページ）をご参照ください。
- Bluetooth 対応機器を使って、本機をサーチすることができます。そして、その Bluetooth 対応機器を本機に接続してください。本機の機器名は「DA7」、で初期パスキーは「0000」です。接続する機器の取扱説明書もご参照ください。

ハンズフリー電話の制御

[電話] ボタンをタッチし、電話メニュー画面を表示します。

■ **電話メニュー画面の例**

① 番号入力画面
電話番号の入力に使用します。

② 履歴 *
最大 60 の項目（最後の着信電話番号、不在着信、発信、電話帳に登録されている連絡先など）を表示できます。リストに 60 個の項目が表示されている場合に項目が追加されると最も古い項目が削除されます。

③ 電話帳 *
電話帳から電話をかけることや、電話帳を編集することができます。

* ハンズフリー電話が接続されていない場合、Bluetooth 設定画面が表示されます。「Bluetooth の設定」（19 ページ）をご参照ください。

電話を受ける

1 着信すると、着信音が流れ着信画面になります。

2 **[開始]** をタッチします。
通話を開始します。

- 通話中、本機の現在のモードでのオーディオはミュートになります。通話が終了すると再生が再開されます。
- 発信者の電話番号がシステムに伝達されると、発信者の名前が電話帳に保存されていた場合に、その名前が表示されます。名前が保存されていない場合は、番号が表示されます。
- **[応答拒否]** をタッチすると、着信を拒否します。
- 通話中に **【 】** をタッチすると、電話操作画面に切り替えて通話音量などを調整できます。詳細については、「電話操作画面」（31 ページ）をご参照ください。

電話を切る

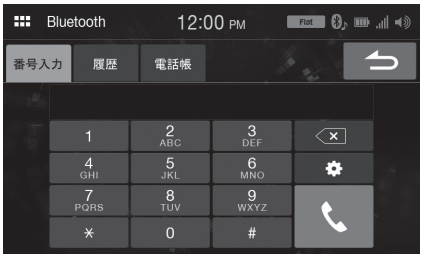
1 **【 】（通話終了）** をタッチします。
通話を終了します。

電話をかける

電話メニューを使って電話をかける

電話をかける番号を入力する

1 **【番号入力】** をタッチします。
番号の入力画面（キーバッド）が表示されます。



入力した番号を削除するには、[ ] をタッチします。

2 電話をかける番号を入力します。
- 最大 21 桁まで入力できます。

3 **【 】（発信）** をタッチします。
通話を開始します。

- Bluetooth 機器を変更するには、 をタッチして Bluetooth 設定画面を表示します。「Bluetooth の設定」（19 ページ）をご参照ください。

最近の通話記録から電話をかける

1 最近の通話記録を表示するには、**【履歴】** をタッチします。

2 **【着信】**、**【発信】**、または **【不在着信】** からカテゴリーを選択します。

3 電話をかける連絡先の名前または電話番号をタッチします。
通話を開始します。

連絡先リスト（電話帳）から電話をかける

1 連絡先リストを表示するには、**【電話帳】** をタッチします。

2 **電話をかける連絡先の名前または電話番号をタッチします。**
電話操作画面が表示されます。

3 **電話をかける番号をタッチします。**
通話を開始します。

- 連絡先リスト画面は、電話操作画面の【】をタッチして表示することもできます。

音声認識機能を使う

iPhone の Siri 機能を使を使うことや、スマートフォンの音声操作で電話をかけることができます。

- Apple CarPlay や Android Auto を使う場合、操作画面が取扱説明書の画面デザインと異なる場合があります。

Siri を使う

iPhone の Siri 機能を使うことができます。本機能を使うには、iPhone の Siri 設定を ON に設定してください。

- iPhone を Bluetooth 経由で本機に接続し、［ハンズフリー］または［両方］に設定します （19 ページ）。
- 使える機能は接続した iPhone によって異なります。
- 音楽ライブラリーからの曲の再生は USB ソースのみに適用されます。
- データを受信可能な対応スマートフォンに接続することで、Siri と他のストリーミングサービスが有効になります。これらの機能を楽しむために、スマートフォンのモバイルデータ通信または Wi-Fi 接続が有効になっていることを確認してください。
- Siri や他のストリーミングサービスを多く利用すると、電話のデータの利用量が増加する場合があります。適切なデータプランに加入しているか電話会社に確認してください。

1 **【】ボタンをタッチします。**

音声認識モード画面が表示されます。

2 **本機に付属のマイクに話しかけてください。**

- 音声が検出されない場合、接続した iPhone のバージョンによっては本機が一時停止することがあります。その場合、音声制御モード画面の中央にあるマイクアイコン【】をタッチしてください。引き続き音声制御モードを使用できます。

3 **音声制御モードを終了するには、［×］をタッチします。**

- iPhone によっては、Siri 機能が自動で終了する場合があります。
- 音量を調整するには、「会話音量を調整する」（31 ページ）をご参照ください。

音声ダイヤル機能

音声操作により電話をかけることができます。

- スマートフォンを Bluetooth 経由で本機に接続し、［ハンズフリー］または［両方］に設定してください（19 ページ）。

1 【🎙】ボタンをタッチします。

音声認識モード画面が表示されます。

2 電話をかける電話番号 * または名前 * をマイクに向かって発話します。

* 電話番号と名前はスマートフォンに保存されている音声ダイヤル情報に依存します。

3 音声ダイヤルモードを終了するには、［✕］をタッチします。

- この操作は、音声ダイヤルに対応したスマートフォンを接続しているときのみ実施できます。
- 音声ダイヤル機能の性能は、スマートフォンの認識範囲およびマイクの設置場所に左右されます。
  マイクを設置する際に注意してください。
- 音声ダイヤル操作は、スマートフォンで利用できる機能に依存します。詳細は、スマートフォンの取扱説明書をご参照ください。
- スマートフォンによっては、音声ダイヤル操作は自動で終了する場合があります。
- 音量を調整するには、「会話音量を調整する」（31 ページ）をご参照ください。

電話操作画面

会話音量を調整する

発信者の音量とマイクの音量を調整することができます。

1 【📞】をタッチします。

2 ［マイク音量］または［受話音量］の【–】または【+】をタッチします。
11 レベルで音量を調整することができます。

音声出力を変更する

電話の音声出力は、車のスピーカーと携帯電話のスピーカーの間で切り換えが可能です。

【電話機】または【ハンズフリー】をタッチします。

- スマートフォンによっては、この操作を実施できないことがあります。

DTMF（タッチトーン）機能

通話中に DTMF（タッチトーン）を送信します。

1 【⌨】（キーパッド）をタッチします。
番号の入力画面（キーバッド）が表示されます。

2 番号を入力します。

- 通話中にタッチトーン信号を送信できます。

電話帳機能

電話帳画面の例

電話帳を同期する

システムの電話帳とスマートフォンの電話帳を同期させることができます。

【読み込み】をタッチします。
電話帳の同期処理が開始します。

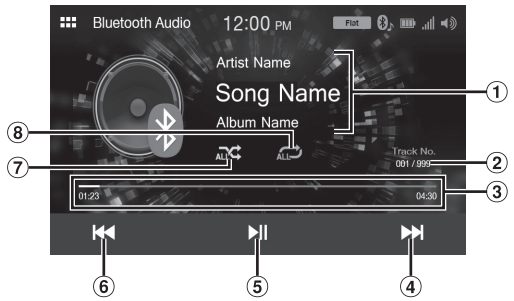
- 電話帳には最大 1,000 件の登録済みの名前を保存できます。
- 1 人につき最大 3 つの電話番号を保存できます。

Bluetooth オーディオ

Bluetooth 対応携帯電話やポータブルプレーヤーなどがワイヤレスで接続されている場合、曲を再生することができます（本機から操作が可能です）。

- Bluetooth 対応機器によって、操作が異なる場合があります。

■ Bluetooth オーディオメイン画面の例



① インフォメーション表示
② 現在の曲番号 / 全曲数
③ 経過時間 / 合計再生時間
④ アップスイッチ
次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。
⑤ 一時停止と再生
⑥ ダウンスイッチ
再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。
⑦ シャッフルモード
⑧ リピートモード

- 表示されているオンスクリーンボタンは、AVRCP のバージョンによって異なる場合があります。
- 曲タイトル / アーティスト名 / アルバムタイトル / 経過時間は、AVRCP のバージョンが 1.0 の場合は表示されません。
- オーディオを再生するには、A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）または AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）に準拠した携帯電話やポータブルプレーヤーが必要です。
すべての機器ですべての機能が働くわけではありません。
- 通話中は、Bluetooth 音源の音は一時停止されます。

対応する AVRCP バージョン : 1.0 1.3 1.4 1.5
- 使用できる機能は、AVRCP のバージョンによって異なる場合があります。

再生

1 (ホーム) ボタンをタッチし、Bluetooth オーディオ モードを選択します。
Bluetooth オーディオモード画面が表示されます。

2 **[⏮] または [⏭] をタッチして希望の曲（ファイル）を選択します。**

現在のファイルの頭出し：
［⏮］をタッチします。

現在のファイルの早戻し：
［⏮］を長押しします。

次のファイルの頭出し：
［⏭］をタッチします。

現在のファイルの早送り：
［⏭］を長押しします。

3 **再生を一時停止するには、[⏯] をタッチします。**

リピート再生

AVRCP のバージョン 1.4 と 1.5 でのみ使用できます。

1 **[🔁] をタッチして、リピート再生モードを選択します。**
選択したリピートモードに応じてボタンが変化します。

全曲 🔁ALL：全曲の再生が終了すると、最初の曲からリピート再生されます。
1 曲 🔂：現在再生中のファイルのみを繰り返し再生します。
Off 🔁：リピートモード OFF

- 接続されている Bluetooth 対応機器によって、操作が異なる場合があります。

シャッフル再生

AVRCP のバージョン 1.4 と 1.5 でのみ使用できます。

1 **[🔀] をタッチして、シャッフル再生モードを選択します。**
選択したシャッフルモードに応じてボタンが変化します。

全曲 🔀ALL：Bluetooth 対応機器に保存されているすべての曲がランダムな順序で再生されます。すべての曲が再生されるまで同じ曲は再度再生されません。
Off 🔀：シャッフルモード OFF

- 接続されている Bluetooth 対応機器によって、操作が異なる場合があります。

外部機器（AUX IN）（オプション）

外部機器（AUX IN）操作（オプション）

⚠ 警告
車両を運転中にドライバーがビデオを見るのは危険です（多くの地域で違法です）。ドライバーが前方を見て運転に集中できなくなるなどの注意散漫を引き起こし、事故につながるおそれがあります。

車両が停止しているかパーキングブレーキをかけている場合を除き、ドライバーがテレビやビデオを見ることができないように、製品を正しく設置してください。

製品を誤って取り付けると、運転中のドライバーがテレビやビデオを見ることが可能になり、事故につながるおそれがあります。また、ドライバーや他の人々を巻き込み重傷を負うおそれがあります。

1 (ホーム) ボタンをタッチします。
ホーム画面が表示されます。

2 **[AUX IN] をタッチします。**
外部機器（AUX IN）モード画面が表示されます。

- 安全のため、運転中はビデオは表示されず、オーディオのみ再生されます。
- 接続する外部機器の詳細は、外部機器取扱説明書をご参照ください。

ビデオファイル再生中の外部機器操作画面
外部機器（AUX IN）操作画面が表示されます。

- 操作画面は、操作をおこなった 5 秒後に、USB ビデオ /USB フォトの再生画面に切り換わります。外部機器（AUX）操作画面を非表示にするには、ビデオ表示エリアをタッチします。

カメラの操作（オプション）

オプションのカメラを接続すると、カメラの映像をモニターに出力することができます。

リアカメラ：
リアカメラを接続している場合、車両が後退する際に、リアカメラの画像（車幅と距離のガイド線）が本機の画面に自動で表示されます。

フロントカメラ：
視界の悪い道で車両の前方をチェックできます。

カメラの映像の画質を調整できます。
設定項目：明るさ / 色の濃さ / コントラスト
「カメラ画質の設定」（20 ページ）をご参照ください。

カメラの操作

ホーム画面からカメラの映像を表示する

1 **（ホーム）ボタンをタッチします。**
ホーム画面が表示されます。

［カメラ］ボタン

- ［カメラ 1］と［カメラ 2］が両方とも **［Off］**（20 ページ）に設定されている場合、**［カメラ］**ボタンは選択できません。

2 **［カメラ］をタッチします。**
［カメラ 1］設定で設定されたカメラの映像が表示されます。
- ［カメラ 1］が **［Off］**に設定されている場合、［カメラ 2］設定で設定されているカメラの映像が表示されます。

- カメラの映像が表示されたら画面をタッチし、カメラ 2 のボタンをタッチしてカメラ 2 の映像に切り替えます。
- カメラの映像が表示されているときに画面をタッチし、**［×］**をタッチしてメインソース画面または前の画面に戻ります。
- リアカメラの映像のガイド調整を実施できます。詳細については、「リアカメラガイドについて」（34 ページ）をご参照ください。

車のシフトをリバースに入れている間にリアカメラの映像を表示する

1 **シフトレバーをリバース（R）位置にします。**
車がリバースの間、リアカメラの映像が表示されます。
- ［カメラ 1］と［カメラ 2］が **［リヤ］**（20 ページ）に設定されていない場合、リアカメラの映像は表示されません。

2 **シフトレバーをリバース（R）以外の位置にすると、モニターは前の画面に戻ります。**

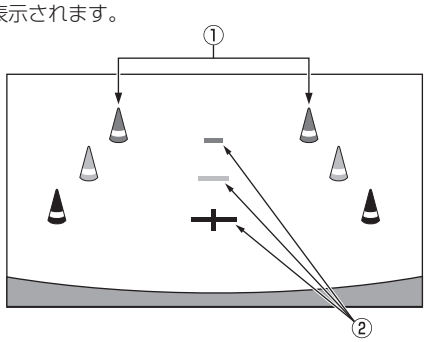
- カメラの映像が表示されたら画面をタッチし、カメラ 2 のボタンをタッチしてカメラ 2 の映像に切り替えます。
- 後退するときは、決してカメラだけに頼らないでください。常に振り返って目視確認し、カメラは補助としてお使いください。
- 本機能は、リバース信号線が正しく接続されているときに有効です。
- リアカメラの映像のガイド調整を実施できます。詳細については、「リアカメラガイドについて」（34 ページ）をご参照ください。

リアカメラガイドについて

ガイドを表示するには、「リアカメラガイドを ON/OFF する」（20 ページ）を ON に設定してください。また、ガイドを調整するには、「リアカメラガイドを調整する」（21 ページ）を参照してください。

■ 表示マークの意味

車がリバースギヤに入ると、モニターはリアカメラ映像に切り換わります。車幅とリヤバンパーからの距離の視覚化を補助するガイドが表示されます。



① 車幅延長線（距離の順に赤、黄、緑）
マークが車幅を示します。まっすぐバックする際の、車の経路を示します。

マークは、車の後部（バンパーの後端）からの距離を表します。
- マークはハンドルと連動して動きません。
- 車幅に合うようにマークを設定します。

② 距離目安線
マークは、車の後部（バンパーの後端）からの距離を表します。
- マークはハンドルと連動して動きません。
- 水平面に駐車時に、マークまでの実際の距離を測定することをお勧めします。

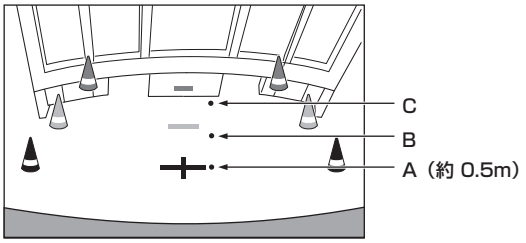
- 車や路面の状態により、視界範囲は異なる場合があります。
- カメラの視界範囲は限定されます。カメラに対し極端な角度（例：バンパーの下やバンパーの両端）に物がある場合は、カメラの視野に入らない可能性があります。
- バックカメラの映像は、実際の周辺部とは異なる色合いになる場合があります。
- 車によっては、ガイド線が右または左にずれる場合がありますが、故障ではありません。

■ 距離目安線

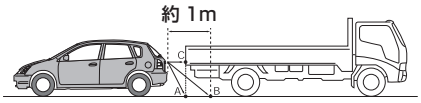
距離目安線は、リヤバンパーから路面までの距離を表します。路面より上にある物までの距離を、正確に判断することはできません。

以下の例では、A までの距離は 0.5m、B までの距離は 1m です。

＜画面＞



＜ A、B、C の位置＞



画面の距離目安線によると、トラックが 1m 離れたところ（B 位置）に駐車しているように見えます。しかし、実際は A 位置まで後退すると、車はトラックに衝突します。
画面上では、A、B、C の各位置は近い順に配置されているように見えます。しかし実際は、A 位置と C 位置は同じ距離で、B 位置は A と C の位置より遠いところにあります。

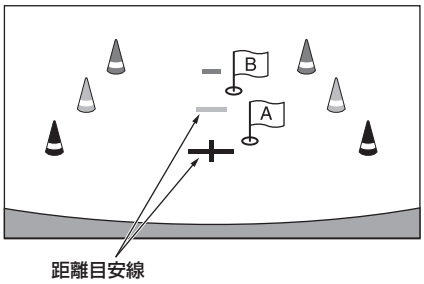
- 車幅延長線は、路面上での距離を表します。道路にある物までの距離は、正確に表されません。

画面と実際の路面での誤差

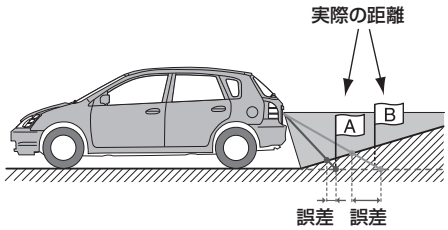
以下の状況では、画面の目安線と実際の路面の間で誤差が生じます。（イラストは、カメラが標準位置に設置された場合を表しています。）

■ 車の後ろに急な上り坂がある場合（例）

＜画面＞



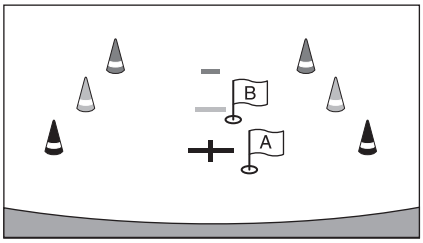
＜車の状態＞



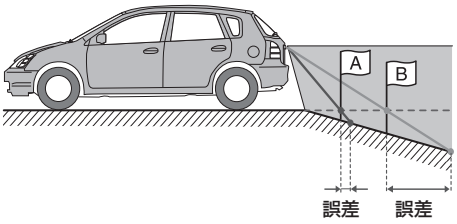
距離目安線は、平坦な路面までの距離を表します。したがって車の後ろに上り坂がある場合、距離目安線は、実際の距離よりもリヤバンパーの近くに表示されます。例えば、上り坂に障害物がある場合、実際の位置よりも遠くに見えます。
また、目安線と路面の実際の経路でも誤差が生じます。

■ 車の後ろに急な下り坂がある場合（例）

＜画面＞



＜車の状態＞



車の後ろに下り坂がある場合、距離目安線は、実際の距離よりもリヤバンパーから遠くに表示されます。
下り坂に障害物がある場合、実際の位置よりも近くに見えます。
また、目安線と路面の実際の経路でも誤差が生じます。

情報

製品のソフトウェアについて

ソフトウェアに関する重要な情報

製品のソフトウェアライセンスについて

製品にインストールされているソフトウェアには、オープンソースソフトウェアが含まれています。
オープンソースソフトウェアの詳細については、本書の末尾（49 ページ）のオープンソースライセンスをご参照ください。

対応フォーマットについて

MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV について

> ⚠ 注意
> **個人的な使用を除き、有償無償に関わらず、著作権所有者の許可なく、オーディオデータ（MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV データを含む）の複製または配布、譲渡、またはコピーをすることは、著作権法および国際協定により厳しく禁止されています。**

MP3 とは？

「MPEG Audio Layer 3」を公式名称とする MP3 は、ISO（国際標準化機構）および IEC の共同活動機関である MPEG によって規定された圧縮規格です。

MP3 ファイルは、圧縮されたオーディオデータを含んでいます。MP3 符号化処理は、非常に高い比率でオーディオデータを圧縮することができ、音楽ファイルのサイズを元のサイズの 10 分の 1 にまで減らすことができます。また、CD に近い質を維持しながらそれを実現します。MP3 フォーマットは、人間の耳には聞きとれない、あるいは他の音に隠れる音を取り除くことによって、高い圧縮率を実現します。

WMA とは？

WMA または「Windows Media ™ Audio」は、圧縮されたオーディオデータです。
WMA は MP3 オーディオデータのようなものです。

AAC とは？

AAC は「Advanced Audio Coding」の省略形で、MPEG2 や MPEG4 で使用する基本的なオーディオ圧縮フォーマットです。

FLAC とは？

FLAC（Free Lossless Audio Codec）は、ロスレス圧縮のためのオーディオファイルコーデックで、オープンソースソフトウェアとして開発、提供されています。
MP3 や AAC などの不可逆圧縮形式のコーデックは、圧縮効率を上げるためにデータを部分的に縮小します。
しかし FLAC は、不可逆圧縮をおこなうことで元のデータと同一の複製物になるように、圧縮データを再構築できます。FLAC の圧縮率は、約 50% です。

MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV（USB メモリー）ファイルの作成方法

オーディオデータは、MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV（USB メモリー）のコーデックをもつソフトウェアを使って圧縮されます。MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV（USB メモリー）ファイルの作成についての詳細は、そのソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。
本機で再生可能な MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV（USB メモリー）ファイルには、以下のファイル拡張子がついています。
MP3：「mp3」
WMA：「wma」
AAC：「m4a」
FLAC：「flac」/「fla」
WAV：「wav」
WMA は、Windows Media Audio Professional, Windows Media Audio 10 std、Windows Media Audio 10 Pro Lossless などのファイルには対応されません。

AAC フォーマットには多くの異なるバージョンがあります。使用されているソフトウェアが上記の許容できるフォーマットに準拠していることを確認してください。拡張子が正しくてもフォーマットが再生できない場合があります。
iTunes で符号化された AAC ファイルの再生には対応しています。

対応する再生サンプリングレートとビットレート

MP3（USB メモリー）
サンプリングレート： 8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
ビットレート： 8 ～ 384 kbps

WMA（USB メモリー）
サンプリングレート： 8 ～ 48 kHz
ビットレート： 8 ～ 384 kbps

AAC（USB メモリー）
サンプリングレート： 8 ～ 48 kHz
ビットレート： 8 ～ 384 kbps

FLAC（USB メモリー）
サンプリングレート： 8 ～ 48 kHz
ビットレート： 8 ～ 384 kbps

WAV（USB メモリー）
サンプリングレート： 8 ～ 48 kHz
ビットレート： 64 ～ 1,536 kbps

サンプリングレートによっては、本機は正しく再生できない場合があります。

ID3 タグ /WMA タグ

本機は、ID3 タグ v1.0、v1.1、v2.2、v2.3、v2.4 および WMA タグ Ver.1.x に対応しています。タグデータが MP3/WMA/AAC ファイルの中にある場合、本機はタイトル（曲のタイトル）、アーティスト名およびアルバム名の ID3 タグ /WMA タグデータを表示することができます。
対応していない文字は、「?」で表示されます。
タグ情報によっては、文字数が制限されたり、正しく表示されない場合があります。

MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV を再生する

MP3/WMA/AAC を準備し、USB メモリーに書き込みます。
- 再生可能なファイル / フォルダの最大数 USB メモリー：3,000 ファイル /255 フォルダ（ルートフォルダ含む）
- 再生可能ファイルの最大サイズ：512 MB

ディスクが上記の制限を超える場合、再生されない場合があります。
ファイル / フォルダ名が長い場合、再生可能なファイルの最大数が少なくなる場合があります。
- オーディオおよびビデオファイルフォーマットが本機で再生可能な場合、両方のファイルがカウントされます。

対応するメディア

本機で再生可能なメディアは、USB メモリーです。

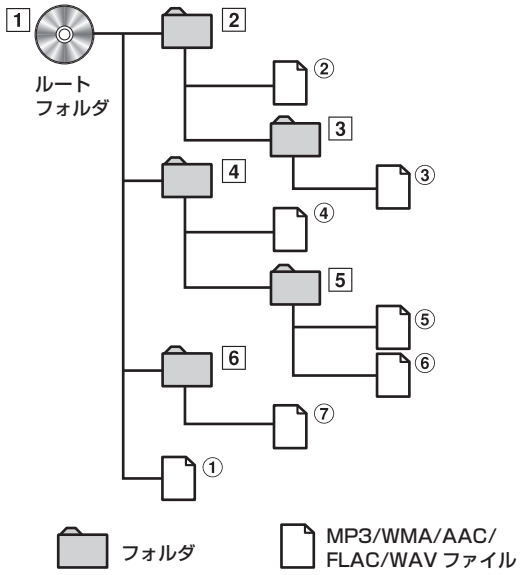
対応するファイルシステム

本機は、FAT 16/32 に対応しています。

フォルダの階層は最大 8 個です（ルートディレクトリを含む）。
ファイル名は 128 文字までに制限されます（拡張子を含む）。
フォルダ / ファイル名に有効な文字は、A ～ Z（すべて大文字）のアルファベット、0 ～ 9 の数字、および「_」（アンダーバー）です。

ファイルの順

ファイルは、書き込みソフトウェアがディスクに書き込む順に再生されます。したがって、再生順は、期待する順ではない可能性があります。ソフトウェアの付随資料で、書き込む順を確認してください。フォルダとファイルの再生順は以下の通りです。（以下の番号は、実際に表示される番号とは異なる場合があります。）



用語

ビットレート

符号化に指定される「音」の圧縮率です。ビットレートが高くなるほど、音質は向上しますが、ファイルサイズも大きくなります。

サンプリングレート

1 秒あたりのデータのサンプリング（記録）回数を示します。例えば、音楽 CD は 44.1 kHz のサンプリングレートを使用するので、1 秒あたりに音が 44,100 回サンプリング（記録）されるということです。サンプリングレートが高くなるほど、音質は向上しますが、データ量も大きくなります。

符号化

音楽 CD、WAVE（AIFF）ファイル、その他の音楽ファイルを指定されたオーディオ圧縮フォーマットに変換します。

タグ

MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV（USB メモリー）ファイルに書き込まれた曲のタイトル、アーティスト名、アルバム名などの情報です。

ルートフォルダ

ルートフォルダ（またはルートディレクトリ）は、ファイルシステムの頂点にあります。ルートフォルダは、すべてのフォルダとファイルを含んでいます。焼いたディスクすべてに自動で作られます。

トラブルシューティング

問題が見つかったときは、電源を切り、再び電源を入れてください。それでも本機が正常に機能しない場合は、以下のチェックリスト項目を確認してください。本機に不具合がある場合、本ガイドがその問題を特定するのに役立ちます。または、システムの他の部分が適切に接続されていることを確認し、アルパインインフォメーションセンターにご相談ください。

全般

機能しない、表示されない

- 車両のイグニッションが OFF になっている。
  - 指示にしたがって接続した場合、車両のイグニッションが OFF の状態では本機は動作しません。
- 電源コードの接続が不適切である。
  - 電源コードの接続を確認してください。
- ヒューズが切れる。
  - 本機のバッテリー線のヒューズを確認し、必要に応じて適切な数値のものに取り換えてください。
- 妨害ノイズなどにより、内部のマイコンが故障した。
  - ボールペンや他の尖ったものでリセットスイッチを押してください。

音がでない、音が不自然

- 音量 / バランス / フェーダーの設定が不適切である。
  - 設定を再調整してください。
- 接続が不適切、またはしっかりとなされていない。
  - 接続を確認し、しっかりと接続してください。

画面が表示されない

- 明るさ / コントラストの設定が最小値に設定されている。
  - 明るさ / コントラストの設定を調整してください。
- 車両の温度が低すぎる。
  - 車内の温度を操作温度の範囲に上げてください。
- 補助装置への接続がしっかりとなされていない。
  - 接続を確認し、しっかりと接続してください。
- パーキングブレーキ信号線が接続されていない。
- パーキングブレーキがかかっていない。
  - パーキングブレーキ信号線を接続し、パーキングブレーキをかけてください。

表示された画像の動きが正常でない

- 車内の温度が高すぎる。
  - 車内の温度を冷やしてください。

ラジオ

放送を受信できない

- アンテナがない、アンテナケーブルが接続されていない。
  - アンテナが適切に接続されていることを確認し、必要であればアンテナまたはケーブルを取り換えてください。

シークモードで放送局に合わせることができない

- 信号の弱いエリアにいる。
  - ラジオ周波数を手動で変更してください
- 現在地がプライマリー信号エリアの場合、アンテナが接地されておらず、適切に接続されていない可能性がある。
  - アンテナ接続を確認し、アンテナが取り付け場所に適切に接地されていることを確認してください。
- アンテナの長さが適切でない可能性がある。
  - アンテナを完全に延ばしているかを確認し、損傷している場合は新しいアンテナと取り換えてください。

放送にノイズが入る

- アンテナの長さが適切でない。
  - アンテナを完全に延ばし、損傷している場合は取り換えてください。
- アンテナが正しく接地されていない。
  - アンテナが取り付け場所に適切に接地されていることを確認してください。
- 放送信号が弱くノイズが入る。
  - 上記の方法で解決できない場合は、別の放送局に合わせてください。

USB オーディオ

本機が動作しない

- 結露がある。
  - 結露が乾くまで、しばらく（1 時間程度）待ってください。

画像が不鮮明でノイズが入る

- 車両のバッテリーパワーが弱い。
  - バッテリーパワーと配線を確認してください。
    （負荷をかけた状態で、バッテリーパワーが 11 ボルトを下回る場合は、本機が故障する場合があります。）

こんなメッセージが表示されたら

操作中は、様々なメッセージが画面に表示されます。現在の状況を知らせたり、次の操作をガイドするメッセージの他に、以下のエラーメッセージもあります。これらのエラーメッセージが表示された場合は、解決方法の欄の指示にしたがってください。

システム

安全のため操作できません。

- 車両の走行中に、設定操作などをおこなった。
  - 車両を安全な場所に移動し、停止させ、パーキングブレーキをかけます。その後、この操作をおこなってください。

サポート対象外の USB 機器が接続されました。

- ハブ付きの USB メモリーを接続している。
  - ハブ付きの USB メモリーから再生することはできません。USB ハブの接続には対応していません。

オーディオ / ビジュアル

サポート対象外の USB 機器が接続されました。

- 本機が対応していない iPhone が接続されている。
  - 本機が対応している iPhone を接続してください。
- 本機が対応していない USB 機器が接続されている。
  - 別の USB メモリーを接続してください。
- 通信エラーになる。
  - イグニッションキーを OFF にし、再度 ON にしてください。
  - iPhone のケーブルを使って iPhone と本機を再接続し、表示を確認してください。
  - USB メモリーと本機を再接続し、表示を確認してください。
- iPod/iPhone のソフトウェアバージョンが本機に対応していないことが原因。
  - iPhone のソフトウェアバージョンが本機に対応するようアップデートしてください。
- iPhone が認識されない。
  - 別の iPhone に変更してください。

接続状態を確認してください。

- 通信エラーになる。
  - iPhone のケーブルを使って iPhone と本機を再接続し、表示を確認してください。

No Artist（No Song/No Album）

- iPhone にデータがない。
  - iPhone にデータをダウンロードし、本機に接続してください。
- USB オーディオ / iPod オーディオにタグ情報がない。

No Files（ファイルがない）

- USB メモリーにデータがない。
  - USB メモリーにデータをダウンロードし、本機に接続してください。

Bluetooth

Bluetooth 機器が接続されていません

- Bluetooth オーディオ機器が正しく接続されていない。
  - 本機の設定と Bluetooth オーディオ機器の設定を確認し、再接続してください。

仕様

モニター部

画面サイズ	7 インチ
LCD の種類	透明タイプ TN LCD
オペレーティングシステム	TFT アクティブマトリクス
画素数	1,152,000 (800 × 480 × 3（RGB))
有効画素数	99% 以上
光源システム	LED

FM チューナー部

同調範囲	76.0 ～ 95.0 MHz
モノラル実用感度	9.3 dBf（0.8 µV/75 Ω）
50 dB クワイエッティング感度	13.5 dBf（1.3 µV/75 Ω）
オルタネイトチャンネル選択度	80 dB
S/N 比	65 dB
ステレオセパレーション	35 dB
キャプチャ比	2.0 dB

AM チューナー部

同調範囲	522 ～ 1,629 kHz
実用感度	25.1 µV/28 dBf

USB 部

USB の要件	USB 2.0
最大消費電力	1,000 mA（CDP 対応）
USB クラス	USB（デバイスから再生）/ USB（マスストレージクラス）
ファイルシステム	FAT 16/32
チャンネル数	2 チャンネル（ステレオ）
周波数応答 *1	5 ～ 20,000 Hz （±1 dB）
全高調波歪み	0.008%（1 kHz 時）
ダイナミックレンジ	95 dB（1 kHz 時）
S/N 比	100 dB
チャンネルセパレーション	85 dB（1 kHz 時）

*1 周波数応答は、エンコーダソフトウェア / ビットレートにより異なる場合があります。

Bluetooth 部

Bluetooth の仕様	Bluetooth V4.2
出力電力	+4 dBm Ave.（電力クラス 2）
プロファイル	HFP（ハンズフリープロファイル） PBAP（電話帳アクセスプロファイル） A2DP（Advanced Audio Distribution Profile） AVRCP（オーディオ / ビデオリモート制御プロファイル）

一般

電源電圧	14.4 V DC （11 ～ 16 V 許容）
動作温度	-20 ℃ ～ +60 ℃
出力	45W × 4
重量	0.92 kg
音声出力レベル	
Preout（フロント、リヤ）：	4V/10k Ω（最大）
Preout（サブウーハー）：	4V/10k Ω（最大）

シャーシのサイズ

幅	178 mm
高さ	100 mm
奥行き	60 mm

- 製品改良を継続していくため、仕様および設計は予告なく変更することがあります。
- LCD パネルは、非常に精度の高い製造技術で作られています。有効画素比は 99.99% を超えます。よって 0.01% の画素が、常に ON か OFF となる可能性があります。

設置と接続

本機の設置または接続をおこなう前に、正しく使用するために以下のセクションおよび本書の 7 ～ 12 ページをよく読んでください。

⚠ 警告

ネジなどの小物は子供の手の届かないところに保管してください。
飲み込んで重傷に至るおそれがあります。飲み込んだ場合は、ただちに医者の診察を受けてください。

正しく接続してください。
誤った接続は、火災や製品の損傷の原因になります。

12V 負電圧グランドの車内でのみご使用ください。
（定かでない場合は、販売店にご確認ください。）火災などに至るおそれがあります。

配線の前に、電池の負極端子からケーブルを外して下さい。
感電や、電気的短絡によるけがの原因になります。

ケーブルが周辺の物に絡まないようにしてください。
運転中の邪魔にならないように、マニュアルにしたがってケーブルなどの配線をおこなってください。ケーブルやワイヤーがハンドルやギヤシフトレバー、ブレーキペダルなどの上を遮ったり、またそれらの上に掛かったりすると、非常に危険です。

電気ケーブルをつなぎ合わせないでください。
他の機器に電力を供給するために、ケーブル絶縁物を切断することは絶対にしないでください。配線の電流容量を超えることにより、感電に至るおそれがあります。

穴を開けるときは、導管や配線を損傷しないようにしてください。
設置のためにシャーシに穴を開ける際は、導管や燃料経路、タンク、電気配線などに接触したり、それらを損傷したり妨害したりすることのないよう注意してください。火災に至るおそれがあります。

ブレーキやステアリングシステムのボルトやナットを使ってアース接続をしないでください。
ブレーキやステアリングシステム（その他の安全関連システムすべて）、タンクに使用しているボルトやナットは、設置やアース接続の際には絶対に使用しないでください。車両の制御ができなくなり、火災などの原因になります。

ハンドルやギヤシフトなど、車両の操縦を妨げかねない場所に設置しないでください。
前方の視界を遮ったり、動作などの邪魔になり、重傷に至るおそれがあります。

⚠ 注意

配線と設置は専門の技術者に依頼してください。
本機の配線と設置には、特殊な技術的熟練と経験を要します。安全を確保するために、製品を購入した販売店に必ず連絡をとり、作業を完了してもらってください。

指定されたアクセサリ部品を使用し、しっかりと取り付けてください。
必ず指定のアクセサリ部品のみを使用してください。指定外の部品を使用すると、本機の内部が損傷したり、所定の位置に確実に設置できない可能性があります。これにより部品にゆるみが生じ、危険な状況や製品の故障に至るおそれがあります。

鋭利な金属の端面で配線が押し付けられたり、挟まれたりしないように配線してください。
ケーブルなどの配線は、可動部分（座席のレールなど）や鋭利な先端から離しておこなってください。こうすることで、配線が押し付けられることによる損傷を受けなくてすみます。配線を金属の穴に通す場合は、金属穴の端面で配線の絶縁物が切断されないように、ゴム製のグロメットを使用してください。

水分や埃の多い場所には設置しないでください。
水分や埃の発生頻度が高い場所に、本機を設置しないでください。本機に水分や埃が入ると、故障の原因になります。

注意事項

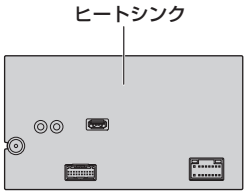
- 本機を設置する前に、必ずバッテリーの電極（マイナス）からケーブルを外して下さい。こうすることで、短絡時に本機が損傷するリスクが低くなります。
- 配線図にしたがって、必ず色分けしたリード線を接続してください。間違った接続により、本機が故障したり、車両の電気系統が損傷するおそれがあります。
- 車両の電気系統に接続するときは、工場設置の部品に注意してください（例：車載コンピュータ）。これらのリード線を利用して本機に電力を供給しないでください。本機をヒューズボックスに接続するときは、本機の回路に使用するヒューズのアンペア数が適切であることを、確認してください。不明の場合はアルパイン販売店にご相談ください。
- RCA コネクタをもつ他の機器（アンプなど）に接続する際、本機は RCA 型雌ジャックを使用します。他の機器の接続にはアダプタが必要な場合があります。その場合は、正規のアルパイン販売店にご相談ください。
- スピーカー（マイナス）のリード線は、必ずスピーカー（マイナス）の端子に接続してください。左右のチャンネルのスピーカーケーブル同士を接続したり、車体に接続したりしないでください。

付属品リスト

本体 1
電源ケーブル 1
USB 延長ケーブル 1
PRE OUT ケーブル 1
マイク 1
取扱説明書 ..... 1 セット

設置

注意
- 空気循環の妨げになりますので、本機の換気扇をふさがないでください。熱が本機内部にこもり、火災の原因になります。

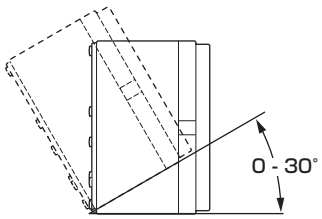


本機背面

設置場所に関する注意

設置角度

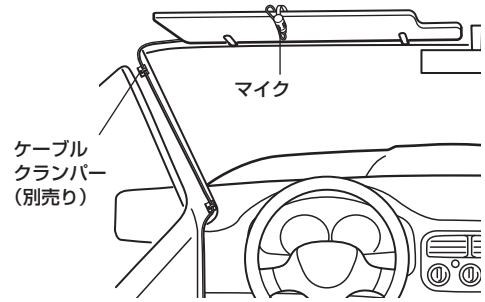
水平から 30° の間の角度で設置してください。この範囲外の角度で設置すると、性能の低下や損傷につながるおそれがあります。



マイクを取り付ける

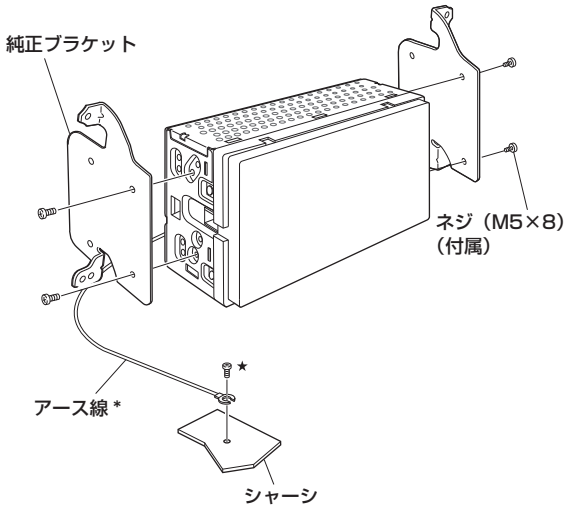
安全に使用するため、以下を確認してください。
- 取り付け場所は安定して動かいないこと
- 安全装置に干渉しないこと
- ドライバーの視界と運転を妨害しないこと
- ドライバーの声が届きやすいところにマイクがあること（サンバイザーの上など）

マイクに向かって話しかけるときに運転姿勢を変える必要がないように設置してください。注意力が散漫になり、安全運転に集中できなくなるおそれがあります。マイクを取り付ける際は、方向と距離を十分考慮してください。選択した位置でドライバーの声が届きやすいことを確認してください。



純正ブラケットを使用した設置例

1 付属のネジを使用して、純正ブラケットを本機に取り付けます。



2 「接続」（43 ページ）に記載されている説明にしたがって、本機のすべてのコードを接続します。

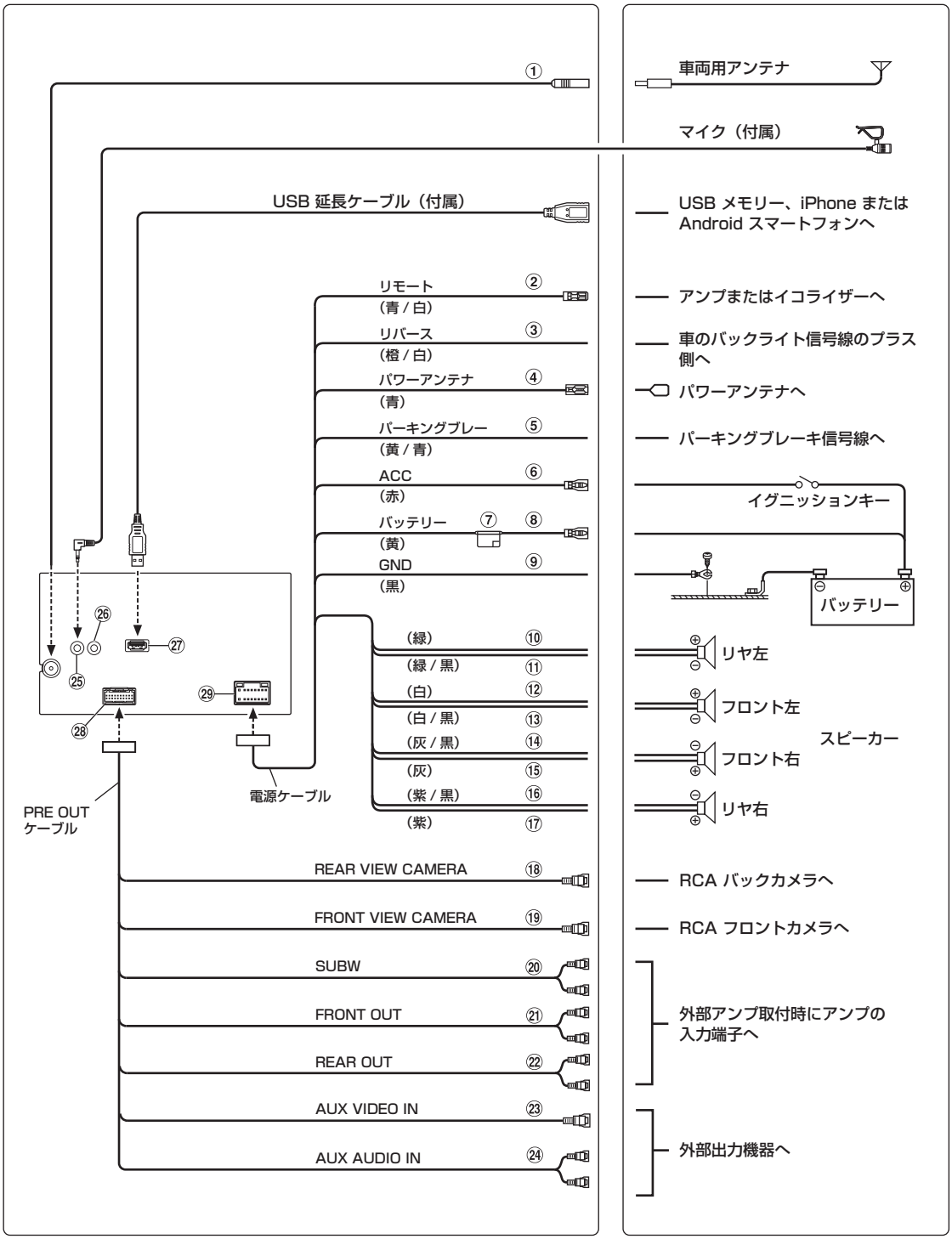
3 本機を車内に取り付けます。

* アース線を確実に接続するために、車両の金属部にあるネジ（★）、または車のボディ ― の金属部分を使用してください。

- ケーブルは注意して固定してください。座席のレールなど可動部分にケーブルを取り付けたり、鋭利で尖った端面に向けて配線したりすると、ケーブルが損傷しますのでおやめください。

4 取り外した車両の部品（パネルなど）や補修部品のダッシュキットなどを車両に再度取り付けます。

接続


①
車両用アンテナ
マイク（付属）
USB 延長ケーブル（付属）
USB メモリー、iPhone または Android スマートフォンへ
リモート（青 / 白） ②
アンプまたはイコライザーへ
リバース（橙 / 白） ③
車のバックライト信号線のプラス側へ
パワーアンテナ（青） ④
パワーアンテナへ
パーキングブレー（黄 / 青） ⑤
パーキングブレーキ信号線へ
ACC（赤） ⑥
イグニッションキー
バッテリー（黄） ⑦ ⑧
GND（黒） ⑨
バッテリー
（緑） ⑩
リヤ左
（緑 / 黒） ⑪
（白） ⑫
フロント左
（白 / 黒） ⑬
スピーカー
（灰 / 黒） ⑭
フロント右
（灰） ⑮
（紫 / 黒） ⑯
リヤ右
（紫） ⑰
電源ケーブル
PRE OUT ケーブル
REAR VIEW CAMERA ⑱
RCA バックカメラへ
FRONT VIEW CAMERA ⑲
RCA フロントカメラへ
SUBW ⑳
FRONT OUT ㉑
外部アンプ取付時にアンプの入力端子へ
REAR OUT ㉒
AUX VIDEO IN ㉓
AUX AUDIO IN ㉔
外部出力機器へ
㉕
㉖
㉗
㉘
㉙

① アンテナソケット
車両アンテナプラグを接続します。

② リモートオンコード（青 / 白）
接続するアンプや周辺機器のリモートオンコードに接続してください。

③ リバースコード（橙 / 白）

④ パワーアンテナコード（青）
該当する場合、本リード線をお使いのパワーアンテナの B 端子に接続してください。
- 本リード線は、車両のパワーアンテナの制御専用にお使いください。本リード線を使ってアンプや信号プロセッサなどの電源を入れないでください。

⑤ パーキングブレーキコード（黄 / 青）
パーキングブレーキ状態信号を本機に送信するために、本リード線をパーキングブレーキスイッチの電源供給側に接続してください。

⑥ ACC コード（イグニッション）（赤）
キーポジションがオンまたはアクセサリ位置のとき、12V の電源が供給されるコードに接続してください。

⑦ ヒューズホルダ（15A）

⑧ バッテリーコード（黄）
本リード線を車両のバッテリーの陽極（+）に接続してください。

⑨ アースコード（黒）
車両のボディーの金属部分に接続してください。
金属部分に接続され、付属のネジでしっかり固定されていることを確認してください。

⑩ 左リヤ（+）スピーカー出力コード（緑）

⑪ 左リヤ（–）スピーカー出力コード（緑 / 黒）

⑫ 左フロント（+）スピーカー出力コード（白）

⑬ 左フロント（–）スピーカー出力コード（白 / 黒）

⑭ 右フロント（–）スピーカー出力コード（灰 / 黒）

⑮ 右フロント（+）スピーカー出力コード（灰）

⑯ 右リヤ（–）スピーカー出力コード（紫 / 黒）

⑰ 右リヤ（+）スピーカー出力コード（紫）

⑱ リアカメラ入力 RCA 端子
RCA 出力コネクタのあるリアカメラを接続する際に、ご使用ください。

⑲ フロントカメラ入力 RCA 端子
RCA 出力コネクタのあるフロントカメラを接続する際に、ご使用ください。

⑳ サブウーハー RCA 端子

㉑ フロント出力 RCA 端子
フロント出力 RCA コネクタとして使用できます。赤が右、白が左です。

㉒ リヤ出力 RCA 端子
リヤ出力 RCA コネクタとして使用できます。赤が右、白が左です。

㉓ 外部ビデオ入力 RCA 端子
ビデオ RCA 出力コネクタのある外部機器を接続する際に、ご使用ください。

㉔ 外部オーディオ入力 RCA 端子
ビデオ RCA 出力コネクタのある外部機器を接続する際に、ご使用ください。赤が右、白が左です。

㉕ MIC 入力端子
マイク（付属）へ

㉖ ステアリングリモートコントロールインターフェースコネクタ
ステアリングリモートコントロールインターフェースコネクタへ
接続の詳細については、アルパインインフォメーションセンターにご相談ください。

㉗ USB コネクタ
USB メモリー、iPhone または Android スマートフォンへ

㉘ カメラ /PRE OUT コネクタ

㉙ 電源コネクタ

重要
下部のスペースに本機のシリアル番号をご記入いただき、永久記録として保管してください。シリアル番号プレートは本機の底部にあります。

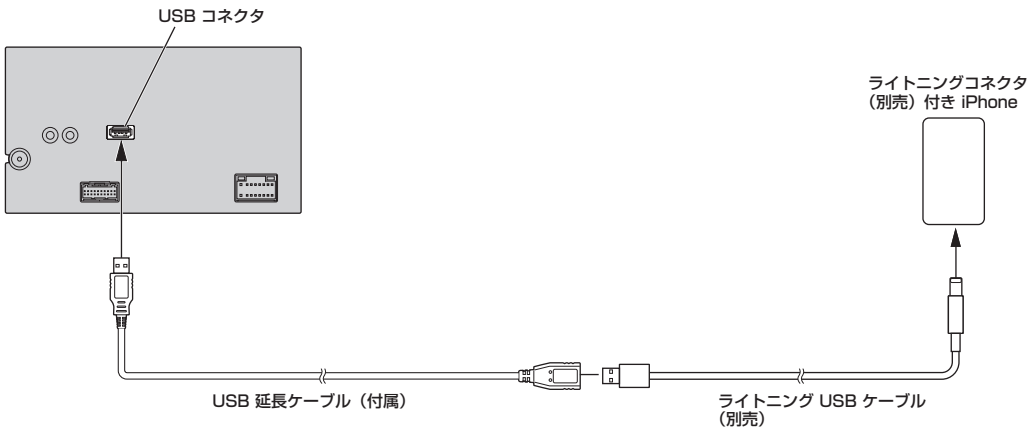
シリアル番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
設置日：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
設置担当者：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
購入場所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

外部のノイズがオーディオシステムに入らないようにするには
- 車のハーネスから 10cm 以上離して本機を設置し、リード線を配置してください。
- バッテリーの電源リード線は、他のリード線からできるだけ離してください。
- アースのリード線は車のシャーシの地金部（必要に応じペイント、汚れ、グリスを取り除く）に確実に接続してください。
- オプションのノイズ低減装置を付加する場合は、できるだけ本機と離して接続してください。アルパイン販売店は、様々なノイズ低減装置をご用意しております。詳細はご相談ください。
- アルパイン販売店は、ノイズ対策を熟知しております。詳細はご相談ください。

システム例

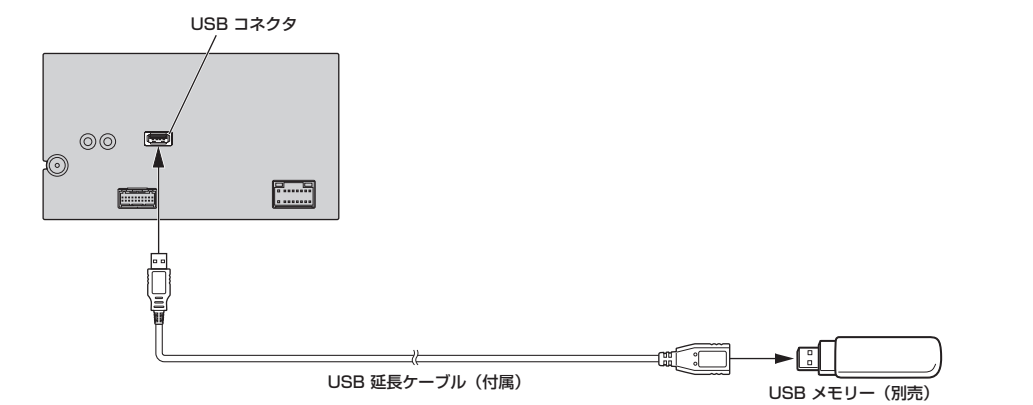
iPhone の接続

■ ライトニングコネクタで iPhone に接続するとき



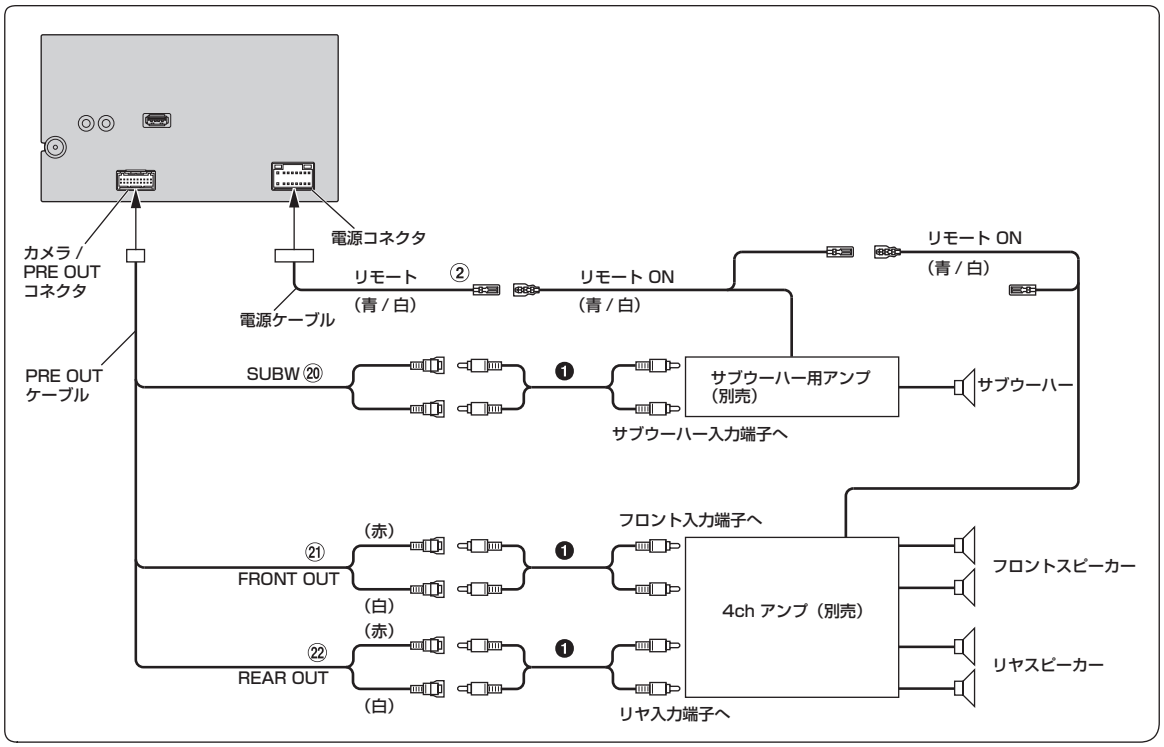
• iPhone を長時間車内に放置しないでください。熱や湿気により iPhone が損傷し、使用不可能になるおそれがあります。

USB メモリーの接続



• USB メモリーを長時間車内に放置しないでください。熱や湿気により USB メモリーが損傷するおそれがあります。

外部アンプの接続



② リモートオンリード線（青 / 白）

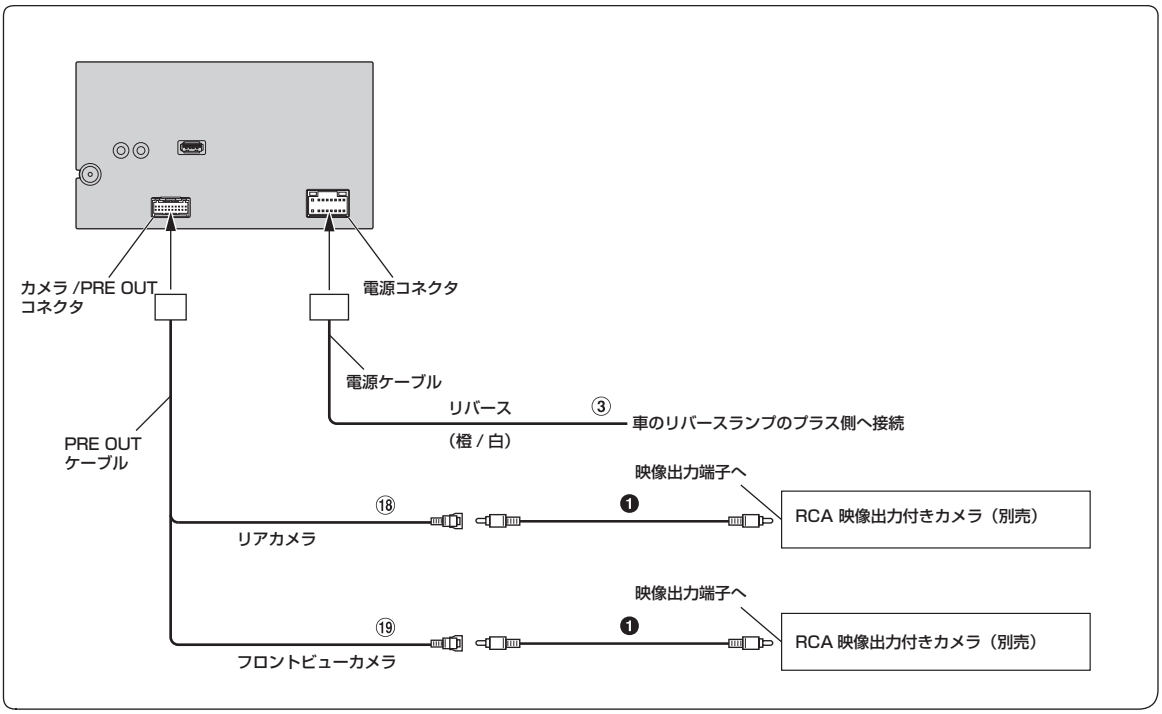
⑳ サブウーハー RCA 端子

㉑ フロント出力 RCA 端子

㉒ リヤ出力 RCA 端子

❶ RCA 延長ケーブル（別売）

バックカメラの接続



③ リバースリード線（橙 / 白）

❶ RCA 延長ケーブル（別売）

⑱ カメラ入力 RCA 端子

⑲ カメラ入力 RCA 端子

• カメラのカメラ 1 またはカメラ 2 設定を **[Rear]** に設定します。詳細については、「カメラ接続設定」（20 ページ）をご参照ください。

オープンソースライセンス

● lw IP

Copyright (c) 2001, 2002 Swedish Institute of Computer Science.
All rights reserved.

ソースおよびバイナリー形式での再配布および使用は、変更の有無に拘らず、次の条件を満たす場合に許可されます。

1. ソース・コードを再配布する場合には、上記の著作権表示、この使用条件および以下の免責表示を含める必要があります。
2. バイナリー形式で再配布する場合には、上記の著作権表示、以下の使用条件および免責表示を、配布に際して提供する関連文書および資料に記載する必要があります。
3. 事前の書面による許可がある場合を除き、このソフトウェアから派生した製品を保証または推奨するために作者の名前を使用することはできません。

このソフトウェアは、作者から「現状のまま」提供され、商品性に関する黙示的な保証含むがそれに限定されない明示および黙示の保証は含まれていません。特定の目的に対する適合性は放棄されています。いかなる場合においても、原因、責任の論理、契約の有無、厳密な責任、または不法行為（不注意などを含む）においても、損害の可能性が示されていた場合でも、作者は、本ソフトウェアの使用により生じる（代替品やサービスの調達、使用機会、データ、または利益の損失、あるいは事業の中断を含むがそれらに制限されない）直接的、間接的、偶発的、特殊的、典型的、および結果的な損害に対する責任を負いません。

このファイルは lwIP TCP/IP スタックの一部です。

作成者：Adam Dunkels <adam@sics.se>

● OpenSSL

ライセンスの問題
==========

OpenSSL ツールキットは、二重ライセンス（OpenSSL ライセンスおよびツールキットに適用されるオリジナルの SSLeay ライセンス）の対象となります。
実際のライセンステキストについては、以下を参照してください。

OpenSSL ライセンス

==========
Copyright (c) 1998-2018 The OpenSSL Project. All rights reserved.

ソースおよびバイナリ形式での再頒布および使用は、変更の有無に拘らず、次の条件を満たす場合に許可されます。

1. ソース・コードを再頒布する場合には、上記の著作権表示、この使用条件および以下の免責表示を含める必要があります。
2. バイナリ形式で再頒布する場合には、上記の著作権表示、以下の使用条件および免責表示を、配布に際して提供する関連文書および資料に記載する必要があります。
3. このソフトウェアの機能または使用について言及するすべての広告用材料では、次の謝辞を表示する必要があります。
   「この製品には、OpenSSL Toolkit で使用するために OpenSSL Project によって開発されたソフトウェアが組み込まれています。
   (http://www.openssl.org/)」
4. 事前の書面による許可がなければ、「OpenSSL Toolkit」と「OpenSSL Project」の名前を、このソフトウェアから派生した製品の承認または促進に使用してはなりません。書面による許可が必要な場合は、
   openssl-core@openssl.org に連絡してください。
5. OpenSSL Project の事前の書面による許可がなければ、このソフトウェアから派生した製品を「OpenSSL」と呼ぶことはできません。また、それらの製品の名前に「OpenSSL」が含まれていてはなりません。
6. いかなる形の再配布にも、次の謝辞を表示する必要があります。
   「この製品には、OpenSSL Toolkit で使用するために OpenSSL Project によって開発されたソフトウェアが含まれています。
   (http://www.openssl.org/)」

OpenSSL Project は、このソフトウェアを特定物として現存するままの状態で提供し、法律上の瑕疵担保責任、商品性の保証および特定目的適合性の保証を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負いません。起こりうる損害について予見の有無を問わず、「ソフトウェア」を使用したために生じる、直接的、間接的、付帯的、特別、懲罰的、または結果的損害（代替の製品またはサービスの調達、データまたは利益の喪失、事業の中断などを含み、他のいかなる場合も含む）については、それが契約、厳格な責任、不法行為 (過失の場合もそうでない場合も含む) など、いかなる責任の理論においても、OpenSSL Project およびその寄稿者はその責任を負いません。
==========

この製品には、Eric Young (eay@cryptsoft.com) により作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
この製品には、Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) により作成されたソフトウェアが含まれています。

オリジナルの SSLeay ライセンス

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

このパッケージは、Eric Young (eay@cryptsoft.com) により作成された SSL インプリメンテーションです。
このインプリメンテーションは、Netscape SSL に準拠するように作成されています。

このライブラリーは、以下の条件に従う限り、無料での商業および非商業の使用が許可されます。以下の条件は、単に SSL コードだけでなく、この配布に含まれるすべてのコードに適用されます。この場合、そのコードが RC4、RSA、lhash、DES、などにいずれであっても構いません。この配布に含まれる SSL 資料は、著作権所有者が Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) である点を除き、同一著作権によってカバーされます。

著作権は Eric Young が所有していますので、コードの著作権表示を除去してはなりません。
このパッケージをいずれかの製品に使用する場合は、使用するライブラリー部分の作成者として Eric Young を特定する必要があります。
これは、プログラム始動時に、またはこのパッケージと一緒に提供される資料 (オンラインまたはテキスト) にテキスト形式のメッセージとして含めることができます。

ソースおよびバイナリー形式での再配布および使用は、変更の有無に拘らず、次の条件を満たす場合に許可されます。

1. ソース・コードを再配布する場合には、この著作権表示、この使用条件および以下の免責表示を含める必要があります。
2. バイナリー形式で再配布する場合には、上記の著作権表示、以下の使用条件および免責表示を、配布に際して提供する関連文書および資料に記載する必要があります。
3. このソフトウェアの機能または使用について言及するすべての広告用材料では、次の謝辞を表示する必要があります。
   「この製品には、Eric Young (eay@cryptsoft.com) により作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。」
   使用するライブラリーからのルーチンが暗号に関係ない場合は、「暗号」という語を省略することができます。
4. apps ディレクトリー (アプリケーション・コード) からの Windows 固有のコード (またはその派生物) を組み込む場合は、次の謝辞を含める必要があります。
   「この製品には、Tim Hudson 氏 (tjh@cryptsoft.com) によって作成されたソフトウェアが含まれています」。

Eric Young は、このソフトウェアを特定物として現存するままの状態で提供し、法律上の瑕疵担保責任、商品性の保証および特定目的適合性の保証を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負いません。
起こりうる損害について予見の有無を問わず、「ソフトウェア」を使用したために生じる、直接的、間接的、付帯的、特別、懲罰的、または結果的損害 (代替の製品またはサービスの調達、データまたは利益の喪失、事業の中断などを含み、他のいかなる場合も含む) については、それが契約、厳格な責任、不法行為 (過失の場合もそうでない場合も含む) など、いかなる責任の理論においても、作成者および寄稿者はその責任を負いません。

このコードのすべての公開済みバージョンまたは派生物のライセンスおよび配布条件は、変更できません。すなわち、このコードは、単にコピーすることも、他の配布ライセンス (GNU Public Licence も含む)
に含めることもできません。

● Unrarlib

UniquE RAR ファイルライブラリの無償ライセンス
Copyright (C) 2000-2002 by Christian Scheurer
(www.ChristianScheurer.ch)
Johannes Winkelmann (jw@tks6.net) による UNIX ポート

UniquE RAR File Library (URARFileLib または unrarlib とも呼ばれます) およびそのドキュメントは、RAR 圧縮アルゴリズムを再作成する目的以外であれば、使用、複製、変更、および配布することができます。RAR/WinRAR 互換のアーカイブを作成するために URARFileLib を使用および変更することはできません。許可されるのは解凍のみです。
URARFileLib、または URARFileLib の一部をプログラムで使用する場合、そのプログラムは無償で提供する必要があります。
上記の著作権表示はすべてのコピーに添付する必要があります。
どのような理由であっても URARFileLib の適合性に関する表現を行うことはできません。URARFileLib は、明示および黙示の保証なしに「現状のまま」提供されます。

Christian Scheurer (cs@unrarlib.org)
14.2002 年 6 月

● zlib

zlib.h -- 'zlib' 汎用圧縮ライブラリのインターフェイス
バージョン 1.2.11、2017 年 1 月 15 日

Copyright (C) 1995-2017 Jean-loup Gailly and Mark Adler

本ソフトウェアは、明示および黙示の保証なしに「現状のまま」提供されます。いかなる場合においても、作成者は、本ソフトウェアの使用によって生じるすべての損害に対して責任を負いません。

このソフトウェアは誰でも商用目的を始めとするすべての目的で使用できます。無償での変更および再配布においては、以下の制限が適用されます。

1. 本ソフトウェアのオリジンは正確に表現する必要があります。作成者以外がオリジナルのソフトウェアを記述したと申し立てることはできません。本ソフトウェアを製品で使用する場合、必須ではありませんが、製品ドキュメントに謝辞を含めていただけると幸いです。
2. 変更したソースバージョンはそのように表記する必要があり、オリジナルのソフトウェアであるように表現してはなりません。
3. この表記をソースの配布から削除することや変更することはできません。

Jean-loup Gailly　　Mark Adler
jloup@gzip.org　　madler@alumni.caltech.edu